

人文会ニュース

2008.9

代表幹事より 人文会創立 40 周年に向けて	鎌内宣行	1
エッセー 「よいこと」を決めるのは誰だ	本田由紀	3
書店現場から 人文書と新書	小峰果林	5
15 分で読む「社会福祉の研究課題」	秋山智久	7
各委員会から		
特約店グループ訪問報告		
人文会活動報告・年次総会報告		

104

<http://www.jinbunkai.com>

戦闘技術の歴史1 古代編

歩兵や騎兵の役割から部隊の配置や統率、攻囲戦や海戦の戦術まで、豊富なカラー図版とともに詳しく解説。S・アングリムほか著／松原俊文監修／天野瀬子訳 四七五円

古代エジプト女王・王妃歴史代誌

有名な女王、王妃すべてを網羅した世界初の小伝記集。年表、系図、称号、埋葬地、血縁関係など、事典的機能も充実。J・ティルテイスレイ著／吉村作治監修 三七八〇円

英国ハブサインの読本

「英雄から読み解くイギリス全土の膨大なハブサインから三〇〇枚を厳選。詳しい解説や蘊著コラム、お洒落の情報が満載。興味深いハブサインの世界を堪能できる一冊。井田俊隆編 二五二〇円

創元社

<本社> 大阪市中央区淡路町4-3-6 (税込価)
Tel. 06-6231-9010 Fax. 06-6233-3111
<支店> 東京都新宿区神楽坂4-3 Tel. 03-3269-1051
<http://www.sogensha.co.jp/>

映画論講義

立教講義「映画表現論」が今よみがえる!

映画の豊かな歴史と可能性を、作家・作品に即して語る講義集。ハリウッド・ホース、そして「溝口健二、小津安二郎、成瀬巳喜男、さらにはジャック・ベッケル、ゲル・ダット、ダニエル・ジユミット、クリント・イーストウッド。聴衆を魅了してやまない著者の講義を、です。ますす体で再現。定価2,750円

蓮實重彦

東京大学出版会

東京都文京区本郷7-3-1 TEL03-3811-8814
<http://www.utp.or.jp>

世界文学

必勝法

清水義範
Shimizu Yoshinori

世界文学の名作50編をバスターシュー(模倣)作家が楽しく紹介。この一冊を読むだけで、いつのまにか世界文学の知識と流れが身につく。巻末にプラス50編を挙げる。1575円(税込)

筑摩書房

サービスセンター 048-651-0053
<http://www.chikumashobo.co.jp/>

置き去り社会の孤独

大津和夫／著 (読売新聞記者)

◆1890円

実践心理アセスメント

下山晴彦・松澤広和／編

◆1800円

うつ病の真実

野村総一郎／著

◆1785円

宗教に揺れる国際関係

米國キリスト教の功と罪

蓮見博昭／著

◆2415円

日本評論社

東京都豊島区南大塚3-12-4
TEL 03-3987-8621 (価格は税込)
<http://www.nippyo.co.jp/>

人文会創立40周年に向けて

代表幹事 鎌内 宣行（春秋社）

5月18日に開催された人文会年次総会において代表幹事に再任されました。本年度も宜しくお願い申し上げます。

1969年に人文会が設立されてから本年度で創立40周年を迎えます。この機会に設立当時の小会先輩諸氏の残した記録などに目を通してみましたが、「人文書の棚」を創り出すべく書店様、取次様はじめ業界の多くの方々のご協力とご支援で会活動が軌道に乗り「人文会」として認知されてきた経緯をふりかえると、業界の先輩諸氏にあらためて感謝を申し上げたいと思います。

40年後の今をみてみると全国の老舗書店の衰退とナショナルチェーンの席卷、ネット書店の誕生など、書店環境は激変しています。一言で言えばオーバーストアです。需要と供給という経済法則から言えば供給過多の状態が続き、売上は下降線。人文書の販売状況の厳しさもひしひしと感じています。私たちはこの現状を真摯に受け止め何ができるのかを考え活動していこうと考えます。

* 『人文書のすすめⅣ』の刊行

人文会は全国の特約店の書店様への訪問、研修などを通じて棚の活性化を目標に現場の棚担当者の方々とは協力して5年ごとに「人文書基本図書」を選定しています。人文会創立20周年を記念して出版した『人文科学の現在』は現場の担当者の皆様はもとより図書館、一般読者の方々にも好評を得ることが出来ました。以降、5年ごとの改訂版を刊行しています。現代の読者のニーズにどう答えていくのか。そして現場の棚担当者に具体的な情報をどう提供していくのが会活動の重要なミッションになっています。40周年の今年は改訂の年です。今回は従来の人文大ジャンルの哲学・思想、

心理、宗教、歴史、社会、教育学、批評・評論の各7ジャンルのの中、ジャンルを大幅に変更いたしました。基本図書掲載点数も6000点に増やすことになりました。10月刊行予定の『人文書のすすめⅣ』にご期待ください。

* 「東京研修会」の開催

人文会は「販売委員会」と「広報委員会」がそれぞれ各グループに分かれ書店研修、フェア企画、図書館への蔵書促進、人文会ニュース作成、ホームページ運営などの日常活動を行っていますが、今年は40周年記念事業として特約店様の中から全国約100書店の人文書棚担当者を集まっていた10月に二日間に渡り「東京研修会」を予定しています。従来は毎年秋に特定地域を訪問して研修をしてきましたが、全国の主要書店それも現場の担当者の方々が一同に会し情報交換することで、現在の人文書の販売状況を少しでも改善出来たらと考えています。

二日間で何が出来るか？ 会としても具体的な研修内容を準備して参加して頂いた皆様に「何か」をもつて帰って頂きご自分の「棚」に還元していただきたいと願っています。貴重な時間をこの研修に参加して頂くからには私たちも完全な体制で臨みます。尚、研修の詳細なレポートは次号の「人文会ニュース」に報告させて頂きます。

最後に、冒頭にもオーバーストアという言葉を使いましたが、ある地域ではこの一年あまりで三千坪近い売り場面積が新たに出現するなど、マーケットを無視した出店が続いています。この秋にも続々とSC内に大型店が出店します。人文会会員各社は個々の判断で常備出品の可否をしています。人文書（専門書）は棚のメンテナンスが出来なければ読者は離れていきます。棚担当者の力量が試されます。POS導入で単品管理と自動発注のシステムに必ずしも人文書が合っているとは限りません。担当者と私たちが顔と顔をつきあわせて、時には反発もしながら読者をどう獲得していくか会活動を通じて具体的な成果として出したいと思っています。人文会はそういう顔が見える書店さんと密な関係（特別な）を創っていきます。門戸はいつでも開いています。

人文書は現代を生きたる人々と社会を結ぶ様々な問題を提出し、また解決する糸口を見つける役割を背負っている書籍です。私たちが何を提供出来るのか、読者は何を望んでいるのか、販売の現場に立つておられる書店人と人文会で意見を出し合い切磋琢磨してこの厳しい時代を乗り切っていければと考えています。

ポスト40年に向けて皆様方のご支援、ご批判などいただければ幸いです。人文会を今後共よろしく願います。

「よいこと」を決めるのは誰だ

本田 由紀

最近の世の中を見てみると、何が「よいこと」なのかは個々人によつて異なつていて、個々人がそれぞれ「よい」と考えるコトやモノを自由に選択することによつて、結局は世の中全体が「よくなつて」いくのだ、といった考え方があちこちで目に付く。たとえば、学校選択制などはその典型だ。人々の間には「多様な教育ニーズ」があり、そのニーズを満たしてくれる学校を皆が選べるようにすれば、人気のない「悪い」学校は淘汰され、すぐれた教育実践を行っている学校が生き残る、という考え方だ。その背景には、何が「よい」教育なのかは上から画一的に決めることができないのであつて、個々の親や子供の自由で賢明な選択の結果を通じてしかわからないのだ、という発想がある。それは教育という領域にも市場競争メカニズムを導入するべきであるという、新自由主義的な考え方である。

でも、ほんとうにそうだろうか、と思う。人々の教育ニーズ、すなわち「よい教育」はそんなに多様なのだろうか、と。個々の学校がどんな教育実践を行っているかをつぶさに調べることは親や子供にとって大変だし、結局は「学力」や進学実績か、あるいは施設設備や制服などの簡便な情報に頼つたり、さらには「あそこの学校はよくないらしいわよ」というような風評が独り歩きしたりしがちである。この場合、個々の親や子供が「よいこと」に関する独自の判断基準をしっかりと持つて選択しているというよりも、すでに流通している漠然とした「よさ」に追随しているに等しい。このように、何が「よいこと」かについて各人がそれぞれ固有の考えや価値観を持つているはずだという（非現実的かもしれない）想定が罷り通つている場面が多々あるのに対し、それとは逆に、これが「よいこと」なのだ、と有無を言わず決めつけられて、それを受け入れることが求められる場合もしばしばある。たとえば、「メタポリック対策」もそうだし、「エコ」もそうだし、未成年者が自販機で煙草を買わないようにするために謳われている「タスポカード

導入」もそうだ。政策やマスメディアや企業等々によつて、一般市民からすれば何だか唐突にそれらの必要性が強調され始め、それは「よいこと」だとすではつきりしているから全国民がその方向で動くべきだ、と言われる。いずれも面と向かつて批判しにくいように見える事柄だけに、腑に落ちないながらも何となく従つてしまつてゐる。(ちなみに余談だが、私は喫煙者だけれども財布がこれ以上カードで膨らむのがいやなのでタスポカードは作っていない。自販機が使えないためコンビニなどで煙草を買うようになった結果、今までは吸いすぎないよう一箱ずつ買つていたのに予備として複数個買うようになったため、結局は吸う本数が増えてしまつてゐる。嗚呼。)

これらの両極端に見える二つの想定——何が「よいこと」かは個々人が決める」と何が「よいこと」かは誰かエライ人が決める、あるいはわかりきつたこととしてすでに決まつてゐる——の間には、実は共通点がある。それは、何が「よいこと」なのかについて、皆で考え、話し合い、完璧にとはいかなくとも納得できる共通理解に向かつてにじりよるうとするプロセスを無視してしまつてゐることである。そういう面倒くさいプロセスをすつとばして、「よいこと」についての答えはバラバラの個々人か、あるいは何らかの権威や支配力をもつ存在へと投げ出されてゐるのである。

〈何が「よいこと」かは個々人が決める〉という発想は、より上位に立つ「よいこと」は存在せず個々人の選択がすべて並列的に扱われるという意味で、多文化主義や価値相対主義、さらにはすべての価値についてのシニシズムを内包している。逆に〈何が「よいこと」かはエライ人が決める、あるいはすでに決まつてしまつてゐる〉という発想は、いかなる批判的思考をも排した原理主義に近い。現実として人々の間での価値やライフスタイルの多様性がかつてとくらべて増大している現代社会においては、前者はあるていど避けられない。しかしその結果として立ち現れてしまつた平板な世界、価値のすり合わせや議論をあきらめてしまつた世界は、突如挿入される後者の原理主義に対する防壁をも失つてしまつてゐるかのようだ。

「話せばわかる」的な理想論を持ち出すつもりはない。でも、何が「よいこと」かへの丹念な吟味を欠落させた世の中を、空恐ろしく思う。

(ほんだ ゆき・東京大学大学院准教授)

人文書と新書

小峰 果林

当店は長野駅正面にある十階建て商業ビルの、二階から四階まで3フロア六百坪の店舗です。取扱いジャンルは書籍だけでなく、セルCD・DVD、文具、カフェ、また三軒隣には古書センターもあります。四階の人文書売場は、ソファやテーブルのある選書スペースを取り囲むように、歴史、哲学・思想、美術などの棚を配置して、知的で楽しい書齋のような空間作りを目指しています。

当店には朝から多くのお客様がお見えになります。毎日のように通ってくださり、必ず新刊台をじっくり眺めていただける年配の方もいらっしゃれば、週末に教育書や心理学書をまとめ買いされる学生もみえます。あらためて人文書の購買層の幅広さに驚いています。

当店はグループ旗艦店としてだけでなく、県内の専門書の拠点として、お客様の期待にお応えできるように日々努力を重ねています。

しかし、棚の面積には限りがあるので、お客様のご要望にお応えするのは簡単なことではありません。そのジャンルの基本書の選定、毎日刊行される新刊書の陳列場所や陳列方法、そして棚に並べるときに一番頭を悩ませるのが、学術系の文庫・新書の扱いです。シリーズを集めて陳列したり、商品によってそれぞれの分類の中に入れ込んだり、各書店で様々な工夫がされていると思います。多層階に分かれる当店は、文庫・新書の売場は二階にあるので、そのままだと人文系の内容のものはお客様にはなかなか気づいていただけません。

ここ数年の新書ブームで、有名な著者がハードカバーにも劣らない内容のものを書くケースが多く見られます。その結果、現在の人文書の新刊台は新書がかなりの割合を占めるようになりました。最近では、洋泉社「『情況への発言』全集成」シリーズ、祥伝社「超訳『資本論』」、朝日新聞社「日本人の『死』はどこにいったのか」などが挙げられます。商品の関連陳列は当然のことであり、判型にこだわって陳列するのはナンセンスです。お客様がその棚の前に立った



筆者近影

とき、関連するものは全て手に取れるのが理想だと思います。しかし、何をどこまで棚に入れるのか、そのバランスにいつも悩むのです。基本書という事で考えれば、岩波文庫や岩波新書、平凡社ライブラリーの多くが当てはまるといえます。「棚をつくる」側としては、ハードカバーも文庫・新書も1冊でも多く棚に入れたいものです。

以前、人文系のジャンルの新刊や売れ筋の新書だけを集めて、「人文系新書のススメ」というフェアを展開しました。約三週間の期間でしたが、新書のブームの勢いもあり、実売百五十冊という実績を残すことが出来ました。その時に、お客様から「普段はそれぞれの出版社の棚を見て新書を探すけど、苦闘していますが、主に新刊台中心に文庫・新書を陳列し、棚には著者によって吟味して置くようにしています。」

また、昨年から当店の新書売場では、その時々の特売に合わせたテーマ別の棚を作り、出版社に関係なく陳列しています。これによって新書の売上は前年に比べ確実に伸びており、お客様の支持を得ることが証明されつつあります。先に触れた、人文書と文庫・新書のバランスを考えるのは担当者の経験や力量が試されることです。文庫や新書を取りかかるとして人文書の読者が増えているといわれているのも事実です。ジャンルや判型にとらわれず棚を編集することで、よりお客様のニーズにお応えし、人文書の客層を広げていけると思います。棚は担当者が作るものですが、お客様の知的欲求によって移り変わるものです。いろいろな方面にアンテナを張り、お客様に対して情報を発信・提案しなければなりません。一方的にならず、お客様の声に耳を傾けなければと思っています。

書店員になって八年、人文書を担当して四年目を迎えます。最初の頃は右も左もわからず、新刊を棚に一冊入れるのにも大変苦労しました。しかし経験を重ねた今も、本に触れれば触れるほど、一筋縄ではいかなない人文書の奥深さを痛感しています。棚の前で選書されているお客様を見ると、何を感じていらっしやるのかとても気になり、一挙一動を観察してしまいます。顔なじみのお客様には思わず寄って行ってどんなものをお探しか、棚についてどう思うかお聞きしたりもします。そんな風に直接お話しただけのお客様はごく一部です。その後ろに沢山いらっしやる、意思表示をされない『もの言わぬ』お客様とも向き合い、知的欲求に応えられる棚作りをしていきたいと考えています。

(こみね かりん・平安堂長野店)

十五分で読む「社会福祉の研究課題」

——政策・制度・方法・価値観

秋山 智久

1 社会福祉の理念

社会福祉は、その究極において、人の困難を助けたいという実践を支える理念・思想・価値である。戦後、らせん状に、また重複して現れた社会福祉理念は、大体的なような順番で社会において意義を持つようになったと考えられる。

(1) 生存権—今日では、憲法25条に加えて、第13条の幸福追求権が注視されている。

今日では、わが国における「貧困の再発見」と「格差」が大きな課題となっている。

(2) リハビリテーション—戦後の初代厚生事務次官葛西嘉資とGHQの福祉課長ネルソン・ネフとの交渉や、初代の更生課長になった黒木利克によるアメリ

カのリハビリテーション法の研究や、「身体障害者福祉法」の制定により、リハビリテーション（先天的障害者にはハビリテーション）という概念が次第に定着し始めた。

(3) QOL—QOLは、1960年代末にアメリカやスウェーデンで萌芽した理念である。我が国では当初、医学・看護の領域から提唱された。国民生活審議会によるQOLの10大項目と30小項目なども示されている

(4) 自立—従来の自立の概念「自分でできる」は、経済的自立（自活）を中心に、身体的自立、精神的自立・社会的自立などが検討されてきたが、しかしこうした自立の概念は重度の障害者や認知症老人には該当しにくい点もあって、1978年にアメリカの自立生活調査研究所が出した自立の概念が、広く適

用されるようになってきた。それは次のようなものである。「自立とは、自己選択・自己決定・自己管理・自己実現の過程と手段をいう。」

(5) 共生—「自立と共生」という対の理念として主張されている。しかしこの根底には「本来は共に有り得ない者が、共にあろうとする道筋を歩き続けていく」という健全者側の「共生への願い」と、障害者側の「差別に対する救済」を含む「共生への漸近線」という考えが存在するのである。

(6) ノーマライゼーション次のような三つのノーマライゼーションの思想の発展がある。

① 1950年代に、デンマークのバンクーミケルセンによる「目的と理念」を初めて明らかにした概念である。② 60年代に、スウェーデンのベンクト・ニリーエが八つの原則として明確にした「方法と手段」の理念である。③ 70年代に、北米でヴォルフ・ヴォルフエンスバガーが「手段と結果」を集大成した、上記二つの統合された理念である。彼は、ノーマライゼーションに「S R V」(Social Role Valorization: 社会的役割の価値増大)という理念を付け加えた。

(7) 脱施設化—脱施設化 (deinstitutionalization) は、

施設否定論や施設解体論ではなく、「脱・巨大施設化」「脱・管理施設化」という考えである。つまり「施設の排除や解体」ではなくて「施設らしさ」の排除なのである。その研究者 R・C・スキールンバガーによる脱施設化の六つの理念は次の通りである (1977年)。

① 規則の多い生活から少ない生活へ、② 大きな施設から小さな施設へ、③ 大きな生活単位から小さな生活単位へ、④ 集団生活から個人の生活へ、⑤ 地域社会から隔離された生活から、地域社会で統合された生活へ、⑥ 依存した生活から自立した生活へ。

(8) 利用者主体—ワーカが上位に立つ、パターナリズム (父権的保護主義・弱者保護主義) に基づいたソーシャルワーカーの側からの実践は、本質的にクライアントが実践の中心にあるという考え方ではないという主張が高まった。

我が国では1990年代の社会福祉基礎構造改革の中でこの「利用者主体」が盛んに主張され、地域においては地域福祉計画の中の「住民主体」という表現がなされたのである。これらは2000年6月の「社会福祉法」に規定された。なお、クライアントは決して古い用語ではなく、全米ソーシャルワ

カー協会「N A S W」の倫理綱領・前文では、クライアントとは個人・家族・集団・地域住民を指す、としている。

(9) 自己決定―我が国では1975年頃から特にこの理念の重要性が主張され始めた。そして単に社会福祉実践におけるクライアントの位置の問題でなく、政策面においても「介護保険法」を制定する直前の高齢社会の四つの理念の筆頭に「高齢者とその家族の自己決定」が掲げられたのであった。この自己決定は前述の「利用者主体」の方法を具体的に表すものである。

(10) 権利擁護とアドボカシー―アドボカシーは次のように定義できる。

「ソーシャルワーカーやクライアントなどが、クライアントの生活と権利を擁護するために、その知識と技術と経験を駆使して、主として行政・制度や社会福祉機関・施設の柔軟な対応や変革を求めて行く積極的な弁護実践と活動をいう。アドボカシーの機能としては、①発見、②調整、③介入、④対決、⑤変革がある。」

アドボカシーの訳や意味は、単に権利擁護ではない。利用者の請求することをワーカーが代弁すると

しても、その全てが「権利」ではないからである。生活擁護が加わってくる。

(11) ソーシャル・インクルージョン―障害者など社会的に差別を受けやすい人も、全ての人を社会の中に包み込むという積極的理念であり、「社会的包摂」などと訳される。裏返しに言えば、社会から排除しないことであるが、もつと肯定的な意味を持ち、包含し、当然のように社会の一員として共にある、ことを意味する。

インテグレーションが、障害者と健常者を二分した考えの上で、一つに統合しようとする二元論であるのに対し、インクルージョンは、障害児者は本来一人ひとり独自の存在であり、異なっているのが当たり前であり、全ての人間が一つの社会に包摂されているという一元論に立っている。

(12) エンパワメントとストレングス視点―従来の伝統的なソーシャルワークにおける対象者観は、相手を何か問題のある人として見る「病理・欠陥モデル」を視点に持ち、上から専門職が何かを援助してあげるといったパターンリズムに立っていた。しかし、エンパワメントは、そうしたクライアント・当事者には、自らの課題を克服する力があるという視点か

ら「その力を強化」しようとする理念であり、当事者・ワーカー・地域住民にも該当する考えとされた。ストレングス視点は、このエンパワメントに極めて近い理念であり、親和性が高い。ストレングス視点を「強さ活用モデル」と訳す人もいるが、そうすると、人間の「強さ・弱さ」という比較の問題になってしまうので、「その人らしさ」というように解釈した方がいいと思われる。

2 社会福祉政策の潮流

a 社会福祉政策の潮流

社会福祉基礎構造改革が開始される1989年頃より社会福祉の大きな潮流を整理してみよう。社会福祉の大きな流れは、次の8点である。それらについて簡単に説明する。

(1) 一般性、大衆性 国民皆保険・皆年金の時代となった1961年より、社会福祉は国民全体のものになった。また社会福祉の従事者は現在120万人、100万人を越える三大ヒューマン・サービスのひとつとなり、保健医療関係160万人、教員140万人に並んでいる。

(2) 多様性 社会福祉の供給主体が多様化し、福祉ミ

ックス、福祉多元主義と言われる状況が出現している。今日では、利益と効率追求の視点から競争原理・市場原理が導入されてきた。この福祉ミックスの公式に、 $TWS = H + M + S$ というのがある。TWSとは、Total Welfare in Societyであり、社会における福祉の総量である。福祉の総量は、公立、民間、民間業者、ボランティア等、いろいろと増えているというのが福祉ミックスの考え方である。Hは「Home」日本型である。Mというのは「Market」アメリカ型で、Sは「State」北欧型である。

(3) 地方性、地域性 1970年半ばに言われた「地方の時代」は、1980年の福祉関係の八法改正によって、身体障害者福祉を皮切りに措置権限が地方自治体に移行され、さらに今日では多くの社会福祉事業が地方自治体によって運営されている。「地域福祉計画」が推進（現在、達成率38・4%）された時代である。

(4) 専門性、効率性 約9万箇所ある社会福祉施設の約三分の二は公立であるが、従来のような「親方日の丸」では済まない、効率を求める動きが活発化している。その根底にあるのは、ヒューマン・サービ

スの間で社会福祉の専門職性への要求が高度なものとなり、国家資格の社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士が法制化されたことにもよる。

(5) 調整性 2007年12月の社会福祉士及び介護福祉士法の改正で、社会福祉士の五つ目の業務として「連絡調整」が付け加えられた。今日の社会福祉は他の分野との関係の中でその専門職性の「独自性と協同性」が求められている。そのことを表現する用語は、総合・システム・ネットワーク・コーディネーション・連携として、各所で頻繁に使用されるようになってきている。

(6) 企業性 1989年の福祉系三審議会合同企画委員会会の答申「これからの社会福祉の在り方について」の6点の方向の中に「民間社会福祉の推進」というあいまいな言葉で表現されたものは、かつて産業福祉・企業福祉と言われ、今日の営利型福祉を意味とするものであった。この傾向は2000年4月実施の介護保険法によって、「在宅介護指定業者」の参入として、また今後、特別養護老人ホームや保育所経営への民間企業の参入がますます増大していく傾向でもある。

(7) 情報性 今日、厚生労働省が情報公開したような

資料は直ちにインターネットやWAMNETで呼び出すことができる。また、国内に限らず、イギリスの社会福祉行政に関してイギリスの政府が出した「青書」のようなものでも、すぐ日本で読むことができる時代となった。

(8) 国際性 社会福祉における国際比較研究は以前より盛んであったが、その研究の地域も、ソーシャルワーク研究のアメリカ派、地域福祉・民間社会福祉・福祉政策の研究のイギリス派、社会保険・介護保険研究のヨーロッパ大陸派、公的責任と総合化の研究をする北欧派、人の心と温かさ、隣人とのつながりを重視するアジア派などと分かれている。

b 今日の社会福祉政策の特徴「四大改革と財源」

この社会福祉政策の八つの潮流は四つの大きな改革を含んでいる。つまり1989年の基礎構造改革の開始以来、社会福祉政策として展開された15〜16の政策（新ゴールドプランや児童福祉法改正など）の背景には「四大改革」ともいえるべき共通点があるのである。

一つは、「中央から地方分権へ」、二つめは、「官から民へ」―三つめは、「施設福祉から在宅福祉へ」、四つめは、「措置から利用契約へ」、もしくは「措置から保険

へ」という流れである。

しかもこれらの「四大改革」の基礎には、ある歴然とした大きな背景が一つ存在している。それは、社会福祉の財源の問題である。今、国全体では、738兆円の赤字がある。この738兆円の赤字をどうするか、という課題が社会福祉政策の背後にもあるのである。0歳児を含めた国民一人当たりの借金額は、600万円になる。そして、これらの四つの改革は、全て国家財政の節約になるのである。

なお今日では、こうした社会福祉の潮流の中に、忘れてならないものがある。危機管理（リスクマネジメント）とクライシスマネジメント）である。

3 社会福祉援助の意義と目的

ミクロの社会福祉援助における目的と意義を考察してみると、次のような五点が考えられる。(一)社会福祉利用者の理解と受容。(二)社会福祉利用者の変化と発達の可能性に対する信頼がある。社会福祉実践の目指すものに四つの「変える」ということがある。①社会福祉利用者(クライアント)の生活と人権に不利益をもたらす制度や資源や環境のあり方を変え、②地域社会の無理

解や差別・偏見を変え、③正常な社会生活から逸脱する社会福祉利用者自身の生活と行動と意識を変え、④関わっていく社会福祉従事者自身の価値観と態度を変える。

(三)社会福祉利用者の社会的機能の強化(social functioning) これは社会福祉利用者自身の「対処能力」(coping ability)や、「社会的生活力」すなわち自らが社会で「生き抜く力」と類似している。(四)社会福祉利用者の自立(自律)、(五)社会福祉利用者の自己実現 これは決して社会福祉利用者の主観的な自己満足や主観的幸福感ではない。なぜならこの自己実現の前提には、単なる平均値としての生活水準(welfare)とは異なつた「人間らしい生活における社会生活上のニーズの充足」という客観的な標準(standard)があるからである。

4 社会福祉援助方法の体系

a 福祉援助「方法」の概念

包括的な概念としての社会福祉の方法(論)は目的・価値・知識・技術・社会的承認の要素から成り立つ。そしてその方法(method; ソーシャルワーク)は面接や記録、評価などの技術(skill)からなり、援助の過程(process)において使用される。つまり社会福祉の援助

技術は社会福祉の方法の下位概念であることが、1950年代以降のアメリカでのH・バートレットなどの実践研究によって明確にされて来た。しかし、我が国では1987年制定の「社会福祉士及び介護福祉士法」によって、社会福祉の方法は「社会福祉援助技術」という名称を与えられたことにより、今や両者は行政的に同義語にされつつある。

最近では、レジデンシャルワーク（居住施設ソーシャルワーク）の研究が盛んになってきている。

b 統合ソーシャルワークとジェネラリスト・ソーシャルワーク

従来の伝統的なソーシャルワークの方法は、「人・環境の相互作用」を総合的に把握する視点に欠けるという反省から、米国において1950年代後半に萌芽し、70年代に理論化され、定着したのが、この統合ソーシャルワークである。ソーシャルワークの統合化、統合アプローチとも呼ばれ、最近ではジェネラリスト・アプローチ（代表…L・ジョンソン）として研究されている。

それは、第一段階…三分法の「併用」、第二段階…「結合」（マクロおよびミクロ的介入や、第一次・第二次アプローチなどと二分）、第三段階…「統合」という経

過を取って来た。その理論的枠組には、70年代にはシステム論が、80年代にはエコロジカル（生態学的）・アプローチが中心的に使用されている。つまり環境に対する人（クライアント）の対処能力（coping ability）と、人のニーズ充足に向けての環境側の応答性（responsiveness）が重視される「生活モデル」が大きく注目されるようになって来た。その中心的な研究者はキャレル・ジャーメインであった。

こうした研究の結果、アメリカでは、1984年の「ソーシャルワーク教育協議会（CSWE）標準カリキュラム」によりほとんど全ての社会福祉大学・大学院から、ケースワーク、グループワークなどの個別の名称はカリキュラム科目の名称からは消えている（1999年11月現在で残しているのはコネティカット大学一校のみ）。

5 福祉専門職の制度と資格

a 専門職性の概念

これまでの専門職の研究で何となく専門職の解明が明確でなかったのは、専門性・専門職性・専門職制度の概念が混同していたからである。「専門性」は専門職性の

基礎となる「学問・研究のレベル」の課題を持ち、抽象度が高い項目が要点となる。「専門職性」は「職業のレベル」の課題を持ち、社会において「職業としての専門職」としての要点項目が多い。さらに「専門職制度」は「制度・システムのレベル」の課題を持ち、社会において専門職が機能する場合の制度やシステムが課題となる。その内容は必然的に具体性を帯びて来る。中でも「資格制度」もしくは「専門資格」はその中核となる。

b プロセス・モデルによる社会福祉専門職の研究

プロセス・モデルとは、職業が未熟な段階から成熟の段階まで発展して行くプロセスから専門職をみようとする研究方法である。その代表的研究者はカーソンダース (Car-Saunders) であるが、カーソンダースは専門職の発展段階を次のような4段階に分けている。

(1) 可能的専門職 (自称専門職) : : Would-be Profession 他の人にその位置をすぐに取って代わられる仕事 (occupation) であるよりは、自分だけの専門的な知識と技術を持った仕事でありたいと願うが、社会は未だそれを承認していない場合に、この可能的 (自称) 専門職となる。(2) 新生専門職 : : New-born Profession 専門的な知識と技術を持って職業界の参入して来た新し

い専門職である。セラピストの多くがこれに該当する。

(3) 準専門職 : : Semi-profession 社会で一応専門職として承認されてはいるものの専門職としての完成度がやや低いものをいう。社会学者アミタイ・エツイオーニはその代表として、教師・看護婦・ソーシャルワーカーを挙げた。(4) 確立専門職 : : Established Profession 高度な理論と技術に裏付けられた職業行為を行い、社会的評価も高く収入も比較的多い専門職である。古典的三大専門職は、医者・法律家・聖職者であったが、現代ではそれに公認会計士や大学教授を加えることもある。

このプロセス・モデルによるわが国の専門職の実態はどうであろうか。筆者らが行った全国の社会福祉従事者の調査によると、確立専門職を10点とした場合、医師 9・6、保健婦 8・4、介護福祉士 4・2、社会福祉士 4・2、という社会的な評価を受けていることが判明した。社会福祉士・介護福祉士は保健婦の半分の評価しか受けていない。

b 社会福祉専門職の資格の目的

社会福祉専門職の資格化の目的を考える。それは次のような四点になる。①社会福祉サービス利用者(クライエント)の人権と生活を守るための専門職の社会的発言

力の強化（アドボカシーを行う力への保証）、②公正で高度な社会福祉サービスやその方法技術の保証、③社会福祉専門職の実践を安定して継続的に支えていくための身分的・経済的保障（とくに他の専門職と比して、その労働条件や給料は低位であるため）、④これらの三点を基礎づけるための社会的承認の獲得（無資格の「何でも屋」でないということへの認識）。

6 社会福祉における「連携」の内容と指標

わが国において、「連携」が叫ばれて久しい。広くは保健・医療・福祉の「連携」の必要性がスローガンのように説かれ、狭くは機関・施設・行政の間の「連携」の必要性が強調され続けている。

2007年12月、「社会福祉士及び介護福祉士法」が改正され、従来の社会福祉士の業務「相談・助言・指導・援助」に加えて「連絡調整」が入った（同法2条）。つまり、この「連携」である。しかしその割には、その「連携」の中身がよく分かっていない。掛け声と必要性が声高く言われながら、「連携」とは具体的に何をすることなのか、が不明であった。具体的なレベルになると、従来通りの慣行に従って、機関等が連絡し合っていると

いう形が採られ、その内容を整理し、その頻度を考え、「連携」の尺度を作成するという作業はほとんど皆無であった。

そこで、大阪市立大学生活科学部人間福祉学科社会福祉学研究室（筆者・元教授）では、院生の協力の下に、この「連携」の内容の解明と、尺度作りを試みたのである。それは困難な作業ではあったが、この研究によって「連携」の中身が少しは分かったと思っている。

「報告書は、『連携の内容と指標』：社会福祉相談機関等の「連携」に関する調査報告書…」、大阪市立大学生活科学部社会福祉学研究室、1999年1月、全154頁」

「連携」の内容と指標

この「連携」の内容を簡略に表記して「指標」とした24項目の上位の6項目は次の通りである。1位…サービスマ熟知、2位…頻繁な他機関訪問、3位…他機関報告、4位…協力要請、5位…業務としての他機関訪問、6位…研究会参加。

そこでは次のような「連携」の四つの基本的な枠組が浮かんでくる。

第1群 強い相互関係「サービスマ熟知・訪問・報告・協力要請」、第2群「種々の会議による交流」、第3群

「具体的な活動」、第4群 マイナス要因「基本的な条件の欠如」。

7 わが国におけるソーシャルワーカー団体

「統合」の必要性

a わが国におけるソーシャルワーカー団体の現状

わが国においてソーシャルワークを推進していくために必要な職業集団としての社会福祉専門職団体の現状はどのようなものであろうか。次表の通りである。

これによると、4ワーカー団体の総数は1万6451人であるが、これは現在(2000年)の全社会福祉従事者110万人のわずか1・5%に過ぎない(しかもその2〜3割程度は各団体に重複加入していると言われる)。

b わが国におけるソーシャルワーカー団体の統合(連合)の

困難さ

このように、ソーシャルワーカー団体が分裂している理由は次の7点である。

(1) ソーシャルワーカーとしてのアイデンティティの希薄さがある。(2) ジェネリックという視点が欠如している。(3) 多様な職場と職種で分裂している。

(4) 中央行政におけるいわゆる縦割り行政によって、主管課が法的に分断されている。(5) 多種の資格があつてあたかも全く別の職業のような印象を当事者にも一般市民にも与えている。この資格が違う(もしくは資格がない)ということは、ソーシャルワーカー団体の統合または連合に極めて重大な影響力を持つている。

(6) 各ソーシャルワーカー団体の役割にあるワーカーが、「自分」のソーシャルワーカー団体と他のソーシャルワーカー団体とはでは、専門知識や業務の基礎や質・資格(試験合格)・人数・社会的な認知度など、いろいろな点において、ホンネの部分ではやはり「違う」と思っている。(7) 「今の日本の現状とシステムの中でそんなこと(統合または連合)ができる筈がない」という従来の枠組みの中での染み付いた固定観念がある。

c 「統合」(連合)の必要な理由

それは次の4点である。(1) ソーシャルワーカーが社会においてその責務を果たすためには専門職団体としての組織が大きく、社会的な発言力が強い方が有利である。(2) ソーシャルワーカーとして共通の意識、アイデンティティによつて、他のヒューマン・サービスの専門職に対抗できる(介護支援専門員制定の時を想起して

表1 わが国のソーシャルワーカー団体 (2005年2月28日現在)

4 ソーシャルワーカー団体	設立年 (年)	現会員数 (人)	設立時会員数 (人)
M (社)日本医療社会事業協会	1953	3,147	150
S 日本ソーシャルワーカー協会	1960 (再建 1983)	1,114	941
P 日本精神保健福祉士協会 (改称)	1964	4,151	200
C (社)日本社会福祉士会	1993	18,983	555

この中の表記で、M、S、P、Cとあるのは、その団体の英語表記の主要な頭文字を採ったものである。

ほしい)。(3) 同じソーシャルワーカーとして他の組織が提供していた同じようなサービスに関して、資源利用の効率性を検討することができる。(4) 全人的な視点からの「生活」と「援助」に肉迫するこの専門職組織の「数」の増大と「専門職性」の向上は必要なことである。

社会福祉従事者のわずかに1・5%の組織率であるソーシャルワーカー団体が四つに分かれていることこそが、わが国のソーシャルワーカー、社会福祉の発展に陰を落としているとはいえないのであろうか。ソーシャルワーカーおよびソーシャルワーカー(団体)の発展とわが国の社会福祉の将来展

望への重大なポイントがここにある。

8 社会福祉哲学の必要性と構築

a 社会福祉における価値

「誰かに起こることはあなたにも起こるということを知るべきである」。『人生の短さについて』を書いた古代ローマの哲人セネカの言葉である。

「他人ごとではない」という「他者への痛覚」が社会福祉実践の根底にある。

ソーシャルワークにおいて最も主要な要素は何であろうか。それには、以前よりソーシャルワーカーにとって必要な「3H」(山室軍平)とか、国際ソーシャルワーカー連盟の3要素「知識、技術、価値」(Knowledge, Skill, value)などと言われていたが、1999年、この国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)はカナダのモントリオール会議に向けて、各国のソーシャルワーカー協会から、新しく改訂するための「ソーシャルワークの定義」を募集した。そして2000年の世界会議で採択された「ソーシャルワークの定義」における三大要素は「価値・理論・実践」(Value, Theory, Practice)であった。内容は過去の三要素と類似するが、その順番は違っ

て、その筆頭に「価値」が位置づけられたのである。そこでこうした「価値観・価値」を中心に考察する新しい「社会福祉哲学」の誕生が求められることとなったのである。

b 「社会福祉哲学」の必要性

それは、主として次の8点から考えられる。

- ① 社会福祉哲学による平和・人権・安全の探求、
- ② 社会福祉哲学による人間尊重、生命の尊厳、人権の探求：人間尊重、生命の尊厳、人権とは何かを徹底して探求することは「社会福祉哲学」の重要な課題である。ところで筆者は、社会福祉を含むヒューマン・サービスにおいて、よく混同される「生命尊重」と「人間尊重」の違いを次のように分けている

従来、社会福祉や他のヒューマン・サービスでも生命尊重が重視され、「命一番」という視点から、制度・政策や援助も推進されてきた。しかし医学や看護学とは異なつた社会福祉では、「生命尊重」にさらに社会的要素や個人の精神的な価値観を濃厚に加えた「人間尊重」の概念が明確にされ、その重要視が検討されなければならぬ。

人間尊重と生命尊重の相違

人間尊重に入る価値

平和・人権・愛・友情・恋・信仰・名誉・美・家族・プライバシー

つまり我々は「命よりも大切なもの」を持つていているということである。

③ 社会福祉哲学による社会福祉の進むべき方向の示唆：嶋田啓一郎が指摘するように、価値の多様化と欲望の多様化の混同を見極めることも重要である。

④ 社会福祉哲学に基づく社会福祉的人間観の確立：人間を手段として扱い、人間を非人間化し、人間の存在そのものでなく人間の能力（労働力）などによって、人間を評価し、差別・選別しようとする、いわば資本主義的人間観に厳しく対抗する人間観である。

⑤ 社会福祉哲学に基づく「倫理綱領」の検討：ソーシャルワーカーの「倫理綱領」に価値的な根拠を示すのが、社会福祉哲学の役割である。これはソーシャルワーカーの客観的価値の基盤として、さらに行動指針として、ソーシャルワーカーの間にコンセンサスが得られたものの明文化である。

そして専門職団体の倫理綱領の機能としては、価値志向的機能、教育・開発的機能、管理的機能、制裁的機能の四機能が考えられる。今日、上記のソーシャルワーカー

14 団体による「共通倫理綱領」が確認されている（2004年6月）。

⑥ 社会福祉哲学による社会福祉実践の価値観の探求：ソーシャルワーカーは、「事実と価値の双方の世界に住んでいる」（G・コノプカ）のであり、「魂なき専門家」（M・ウェーバー）になることは許されないのである。

⑦ 社会福祉哲学による社会福祉の「対象」となる人間の不幸、人生の不条理の解明：ところで最も根本に立ち返って、人は「人」を援助しようのかという問いを考え、てみることも必要である。

⑧ 社会福祉従事者の実践の拠り所、支えられる価値観の提供：困難な福祉問題に日々直面する社会福祉実践の現場にあつて、その困難さを乗り越えて、社会福祉利用者（クライエント）を援助しようとするソーシャルワーカーには、その実践を支える何らかの思想・価値観・信条・信仰等が必要な場合が多い。

こうした社会福祉実践の精神的基盤を、社会福祉哲学は探求し、提供することが必要となる。

参考文献

1 社会福祉の理念

(1) 秋山智久・平塚良子・横山稜著『人間福祉の哲学』ミ

ネルヴァ書房、二〇〇四年。

(2) 秋山智久著『社会福祉実践論：方法原理・専門職・価値観（改訂版）』ミネルヴァ書房、二〇〇五年。

(3) 狭間香代子著『社会福祉の援助観—ストレングス視点とエンパワメント』筒井書房、二〇〇一年。

(4) 花村春樹著・訳『ノーマリゼーションの父 N・E・バンクーミケルセン（増補改訂版）』ミネルヴァ書房、一九九八年。

(5) 園田恭一・西村昌記編著『ソーシャル・インクルージョンの社会福祉』ミネルヴァ書房、二〇〇八年。

(6) 室田保夫編著『人物でよむ近代日本社会福祉のあゆみ』ミネルヴァ書房、二〇〇六年。

(7) 阿部志郎・土肥隆一・河幹夫著『新しい社会福祉と理念—社会福祉基礎構造改革とは何か』中央法規出版、二〇〇一年。

2 社会福祉政策の潮流

(1) 岩田正美『現代の貧困—ワーキングプア／ホームレス／生活保護』ちくま新書、二〇〇七年。

(2) 岩田正美・西澤晃彦『貧困と社会的排除—福祉社会を蝕むもの』ミネルヴァ書房、二〇〇五年。

(3) 堤未果著『ルポ 貧困大国アメリカ』岩波新書、二〇〇八年。

(4) 秋山智久『社会福祉実践論：方法原理・専門職・価値

観(改訂版)』ミネルヴァ書房、二〇〇五年。

(5) A・ギデンス著、佐和隆光訳『第三の道―効率と公正の新たな同盟』日本経済新聞社、一九九九年。

(6) 高澤武司・加藤彰彦編『福祉における危機管理：阪神・淡路大震災に学ぶ』有斐閣、一九九八年。

(7) 砂川直樹著『福祉施設のリスクマネジメント 60のポイント』筒井書房、二〇〇三年。

(8) 平田厚著『社会福祉法人・福祉施設のための実践・リスクマネジメント』全国社会福祉協議会、二〇〇二年。

(9) J・ミッジリイ著 京極高宣・萩原康生監訳『国際社会福祉論』中央法規出版、一九九九年。

(10) 渋谷博史編著『福祉の市場化をみる眼』ミネルヴァ書房、二〇〇四年。

(11) 武川正吾編『福祉社会の価値意識』東京大学出版会、二〇〇六年。

4 社会福祉援助方法

(1) 仲村優一・秋山智久編『社会福祉援助技術』ミネルヴァ書房、二〇〇七年。

(2) F・J・ターナー著、米本秀仁監訳『ソーシャルワーク・トリートメント』上・下巻、中央法規出版、一九九九年。

(3) L・C・ジョンソン、S・J・ヤンカ著、山辺朗子・

岩間伸之訳『ジェネラリスト・ソーシャルワーク』ミネルヴァ書房、二〇〇四年。

(4) 横山登志子著『ソーシャルワーク感覚』弘文堂、二〇〇八年。

(5) F・P・バイステック著、尾崎新・福田俊子・原田和幸訳『ケースワークの原則(新訳改訂版)』誠信書房、二〇〇六年。

(6) K. Kirst-Asman 著、六戸明美監訳『マクロからミクロのジェネラリストソーシャルワーク実践の展開』筒井書房、二〇〇七年。

5 福祉専門職の制度と資格

(1) 秋山智久著『社会福祉専門職の研究』ミネルヴァ書房、二〇〇七年。

(2) 宮田和明編『社会福祉専門職論』中央法規出版、二〇〇七年。

6 社会福祉における「連携」の内容と指標

(1) 近藤克則著『医療・福祉マネジメント』ミネルヴァ書房、二〇〇七年。

(2) 宮崎徳子・立石宏昭編著『保健・医療・福祉ネットワークのすすめ(第2版)』ミネルヴァ書房、二〇〇七年。

8 社会福祉哲学の必要性と構築

- (1) 秋山智久・井岡勉・岡本民夫・黒木保博、同志社大学
社会福祉学会編『社会福祉の思想・理論と今日的課題』
筒井書房、二〇〇四年。
- (2) F・G・リーマー著、秋山智久監訳『ソーシャルワ
クの価値と倫理』中央法規出版、二〇〇一年。
- (3) 秋山智久・横山穰・平塚良子『人間福祉の哲学』ミネ
ルヴァ書房、二〇〇四年。
- (4) 嶋田啓一郎監修、秋山智久・高田真治編『社会福祉の
思想と人間観』ミネルヴァ書房、一九九九年。
- (5) 古川孝順著『社会福祉学』誠信書房、二〇〇二年。
- (6) 吉田久一・岡田英己子著『社会福祉思想史入門』勁草
書房、二〇〇〇年。

(秋山智久・あぎやま ともひさ)

昭和女子大学大学院社会福祉研究専攻教授

15分で読む「社会福祉の研究課題」・ブックガイド

出版社	ISBN (978)	書名	著者名	本体 価格	刊行年
ミネルヴァ 書房	4623040612	人間福祉の哲学	秋山智久・平塚良 子・横山稜著	2800	2004
ミネルヴァ 書房	4623044351	社会福祉実践論（改訂 版）	秋山智久著	4000	2005
筒井書房	4887203358	社会福祉の援助観	狭間香代子著	2600	2001
ミネルヴァ 書房	4623029471	ノーマリゼーションの父 N. E. バンク-ミケルセ ン（増補改訂版）	花村春樹著・訳	2000	1998
ミネルヴァ 書房	4623051120	ソーシャル・インクルー ジョンの社会福祉	園田恭一・西村昌 記編著	3500	2008
ミネルヴァ 書房	4623045198	人物でよむ近代日本社会 福祉の歴史	室田保夫編著	2800	2006
中央法規出 版	4805843420	新しい社会福祉と理念	阿部志郎・土肥隆 一・河幹夫著	1800	2001
筑摩書房	4480063625	現代の貧困	岩田正美著	700	2007
ミネルヴァ 書房	4623041381	貧困と社会的排除	岩田正美・西澤晃 彦編著	3500	2005
岩波書店	4004311126	ルポ 貧困大国アメリカ	堤 未果著	700	2008
日本経済新 聞社	4532147716	第三の道	A. ギデンズ著	1500	1999
有斐閣	4641076020	福祉における危機管理	高沢武司・加藤彰 彦編	2200	1998
筒井書房	4887204218	かんたん！ 福祉施設のリス クマネジメント 60の ポイント	砂川直樹著	1500	2003
全社協出版 部	4793506833	社会福祉法人・福祉施設 のための実践リスクマ ネジメント	平田厚著	1200	2002
中央法規出 版	4805818312	国際社会福祉論	J. ミッジリイ著	2800	1999
ミネルヴァ 書房	4623040902	福祉の市場化をみる眼	渋谷博史編著	3500	2004

出版社	ISBN (978)	書名	著者名	本体 価格	刊行年
東京大学出版会	4130560610	社会福祉の価値意識	武川正吾編	5000	2006
ミネルヴァ書房	4623048014	社会福祉援助技術	仲村優一・秋山智久編	2600	2007
中央法規出版	4805817599	ソーシャルワーク・トリートメント上	F.J.ターナー著	10000	1999
中央法規出版	4805817605	ソーシャルワーク・トリートメント下	F.J.ターナー著	10000	1999
ミネルヴァ書房	4623036691	ジェネラリスト・ソーシャルワーク	L.C.ジョンソン S.J.ヤンカ著	12000	2004
弘文堂	4335551215	ソーシャルワーク感覚	横山登志子著	2200	2008
誠信書房	4414604047	ケースワークの原則（新訳改訂版）	F.P.バイステック著	2000	2006
筒井書房	4887204911	マクロからミクロのジェネラリストソーシャルワーク実践の展開	K. K-Ashman 著	3200	2007
ミネルヴァ書房	4623049929	社会福祉専門職の研究	秋山智久著	4000	2007
中央法規出版	4805829080	社会福祉専門職論	宮田和明編	3000	2007
ミネルヴァ書房	4623047963	医療・福祉マネジメント	近藤克則著	2400	2007
ミネルヴァ書房	4623050598	保健・医療・福祉ネットワークのすすめ（第2版）	宮崎徳子・立石宏昭編著	2400	2007
筒井書房	4887204560	社会福祉の思想・理論と今日的課題	秋山智久ほか編	3500	2004
中央法規出版	4805821077	ソーシャルワークの価値と倫理	F. D. リーマー著	3200	2001
ミネルヴァ書房	4623029557	社会福祉の思想と人間観	嶋田啓一郎監修	3500	1999
誠信書房	4414601305	社会福祉学	古川孝順著	5800	2002
勁草書房	4326652396	社会福祉思想史入門	吉田久一・岡田英己子著	2800	2000

各委員会から

各委員会委員長、グループ長からの活動報告です。人文会では、書店様、図書館様などからのご意見、ご要望を具体化するために、グループに分かれて活動しています。販売や棚作りへのご協力や、「人文会ニュース」への記事掲載依頼など、皆様からのご提案をお待ちしています。

販売委員会

販売委員会委員長 田崎 洋幸

本年総会をもって販売委員長に再任されました。2年目であり具体的な成果が求められることになりましたが、新機軸を模索することよりも継続している企画の精度を高めることに重点を置きたいと考えます。また秋季に予定されている創立40周年の記念イベントを成功させることも大事な仕事です。2日間限りのイベントではありませんが、結果を残す為には全会員社の協力、尽力が不可欠

です。販売増に繋がる情報交換の場として活用して頂き、それぞれの職場で活用頂けるような有意義なイベントにしたいと考えております。販売委員会は企画・研修・図書館の3グループで構成されています。企画グループは書店様や販売会社様との窓口となり、主にフェアの設定や情報発信等を企画します。

研修グループは主に書店様との研修会を企画し、販売に繋がる情報を発信しています。

図書館グループは大学図書館や公共図書館を通じての情報収集、販売に繋がる情報提供を主な仕事としています。

各グループの方針は以下になります。

企画グループ

当会創立40周年にふさわしいブックフェアを書店様に展開していただくこと、そして読者に喜んでいただくことが今年のテーマです。会をあげての大きなイベントです。よろしくご協力をお願い申し上げます。

図書館グループ

第1に図書館市場への書籍販売・普及活動、そして第2に図書館界との連携、この二つを活動の軸として1年間取り組みたいと思います。とりわけ図書館人と出版人が「人文書」を媒介にして持続的な対話を試みることに、

そしてその場を意識的に作り出していくことが、今期の主要なテーマになると思います。

研修グループ

「気軽に声を掛けられる人文会」を研修グループのテーマにしたいと考えます。個別の研修から法人単位の大がかりな研修まで、幅広い対応を目指します。販売に繋げるための研修を前提に、お声掛けしたいと思います。委員会メンバーは以下の通りです。

企画グループ

○華園 斉（創元社）

駒谷 光彦（大月書店）

馬場 正彦（吉川弘文館）

水谷 幹夫（未來社）

図書館グループ

○橋元 博樹（東京大学出版会）

成田 共助（法政大学出版局）

三橋 直也（紀伊國屋書店）

研修グループ

◎田崎 洋幸（みすず書房）

小倉 研二（白水社）

根井 浩一（平凡社）

（◎委員長／○副委員長）

企画グループ

華園 斉

本年も企画グループを担当することになりました。よろしくお願ひ申し上げます。企画グループは、主に書店様、販売会社様との連携による販売を担当しております。その活動は具体的には人文書の棚づくり、そしてフェアのサポートです。その一環として会全体で取り組んで参りました、「人文書新ジャンル」による人文書基本リストが、今秋刊行の『人文書のすすめⅣ』に掲載されます。今回は棚づくりの中心となる「中分類」を改訂し、今更でより現在の社会や学術動向に沿ったものになりました。ぜひご利用下さい。また今期も引き続き、トーン専門書グループ様の「トーンハンベストセレクション」の作成をお手伝いしております。このリストは定期的に（年4回）発行されており、テーマは幅広く基本書から時事的なものまで。人文書の棚づくりやフェア展開のヒントにと、ご好評を得ております。「こんなテーマのリストが欲しい」というお声も大歓迎です。どうぞお気軽に。

最後になりましたが、今期のメンバーは歴史書のオーソリテイ吉川弘文館馬場正彦氏、哲学・思想そして社会のスペシャリスト未来社水谷幹夫氏、教育書のエキスパート大月書店駒谷光彦氏が揃いました。どしどしお声をかけて下さい。また、お店に伺いましたら、ぜひお引き立てのほどをよろしくお願い申し上げます。

図書館グループ

橋元 博樹

図書館グループの活動には大きくわけて二つの柱がある。

一つは、主要なマーケットとしての図書館市場にどのように働きかけるかということ。そしてもう一つは、ライブラリアンとの交流をどのように促進するかということである。

まず前者に関して言えば、昨今、人文書の刊行部数が減少してくるにつれて、出版社としてはより一層図書館界での購入に期待を寄せている。もちろんそれは、小部数の人文書の刊行を成り立たせるための図書館界の買い

上げを期待するという意味にとどまるのではなく、いかにネット書店の隆盛やデジタルコンテンツ販売が叫ばれてはいても、読者と書物の出会いの場は依然として書店店頭であり、また図書館であるという意味だ。それゆえに人文会としても図書館への販売促進は、書店、取次会社との協力体制のもと積極的に行なっていきたい。

そして後者は、「人文書」を媒介にしたライブラリアンとの交流である。いまから数年前「無料貸本屋論争」というのがあった。図書館の貸出が出版界の利益を侵害しているのではないか、という議論である。結局、双方の業界団体が共同で行なった実態調査によってその懸念は（殆ど）ないという結論に至った、と記憶している。本来、書物を媒介に協力できるはずの両者の対立の局面ばかりが強調されたこの「論争」を経験した私たちは、今度はその「協力」の可能性に目を向けるべきではないだろうか。それにはまず何よりもお互いを知ることだ。相互の人的交流を促進すること、それも「人文書」を読者に提供するという共通の経験を踏まえることが重要だ。以上の趣旨で当会は、ある公共図書館との読者向けイベントを計画している。詳細が決まり次第サイトなどで告知予定である。乞ご期待。

研修グループ

田崎 洋幸

研修グループの活動は意外に幅広く、販売に繋げるための情報収集や様々なデータの取り纏め、法人単位や個店単位の書店様の人文書販売に関する相談、販売会社様とのコミットなどがあります。もともとその名の通り「研修」が主目的なので、その為の情報や進行を効率的に行うための準備等も考慮しますと、必然的に広範囲をカバーすることになります。人文会の最大の年間行事として秋季研修旅行があげられます。全会員社で特定の地域を訪問して研修会を行います。二日間で二回の研修会を行いますので、下準備には大変苦勞します。グループ内で事前に何度も打ち合わせを行います。メンバーは三名しかいませんので、それぞれ相当の負担となります。全ての研修会が終了すると、ホッとすると同時に気が抜けるのも事実です。また忙しい中、時間をやり繰りしながらお集まり頂き、当会も全会員社が出向くことから当座、「販売に繋げることが出来る充実した研修だった」と評価されないと意味がありません。最もそのこと

を実感する為には、全ての参加者の努力とやる気と多少の時間が必要となります。研修会はあくまで、「その後」に繋げるための入口であり、築いた関係性を更に発展させることができるのか、その場限りで終わらせるのかは、参加した方々の気持ち一つです。研修会の結果だけでは早計に判断は下せませんし、今後の可能性を見いだすためのきっかけにしか過ぎないことも事実なのです。研修を行うこと自体に多大な期待を寄せることは禁物です。繰り返しますが、あくまで個々の人文会会員社と更に深くお付き合い頂くための手段であり、それを利用することで自分に見合った販売方法を模索し、販売増に繋げて頂くことを最終の目的としています。そのことをご理解頂き、積極的にご声掛け頂ければ幸いです。

広報委員会

広報委員会委員長 吉武 創

昨期に引き続き広報委員会を担当いたします。ホームページグループ長には新たに桃野 一郎氏を迎えました。

広報委員会は引き続き通常の広報活動である「人文会ニュース」と「ホームページ」を中心に活動をしていきますが、今期は人文会創立40周年記念事業の一つである『人文書のすすめⅣ』の制作についても取り組みます。

「人文会ニュース」については、書店様や図書館様に対して、人文書の販売や蔵書に役立つ記事を提供するとともに、人文会の広報誌として積極的に会活動を紹介していきたくと考えております。

「ホームページ」では、現在販売委員会で進めている人文書新ジャンルをホームページ上で公開することや会員各社の新刊情報など、書店様や図書館様に役に立つ情報を提供したいと思えます。昨期は広報グループとホームページグループが活動の性格上、比較的独立して活動

してきましたが、今期は『人文書のすすめⅣ』の制作など、二つのグループが協同で取り組む活動が多くあるので、広報委員会のなかでお互いに連携をとりながら委員会活動を行いたいと思えます。

委員会のメンバーは以下の通りです。

広報グループ ◎吉武 創（勁草書房）

高橋 千代（晶文社）

三上 直樹（ミネルヴァ書房）

ホームページグループ

○桃野 一郎（筑摩書房）

小林 文生（慶應義塾大学出版会）

江波戸 茂（日本評論社）

（◎委員長／○副委員長）

広報グループ

吉武 創

広報グループは「人文会ニュース」の発行と人文会創立40周年記念事業の一つである『人文書のすすめⅣ』

を一〇月の刊行を目指して活動しております。今期は「人文会ニュース」を人文会の広報誌としてあらためて位置づけ、人文会が行う書店様との研修やフェア、図書館様との取り組みなどの会活動や人文会のホームページについて積極的に取り上げて、人文会の会活動を今まで以上によく知っていただきたいと考えております。活動内容を記事にすることにより、書店様や図書館様と行った研修やフェアなどを一過性のものとせず、その後もお互いにコミュニケーションを取りながら良好な関係を築いてゆきたいと考えております。

また「人文書について研修したい」「〇〇〇〇」についてのフェアがしたい」などのご要望が、読んでいただいた書店様・図書館様から人文会にいただければ考えております。ご好評いただいている、巻頭エッセー、書店現場から、一五分で読むシリーズについては継続していきま

す。

一〇月刊行予定の『人文書のすすめⅣ』については、人文書各ジャンルの第一人者の先生方に一五分で読むシリーズをご執筆いただきます。巻末の基本図書については、現在人文会で進めている人文書新ジャンルと新ジャンルをもとに選書された書籍リストがつきます。ご期待ください。

ホームページグループ

桃野 一郎

このたびホームページグループを担当させていただくことになりました。しかし、人文会担当になって半年、まだよくわからないまま現在に至っており、未だ諸先輩にご指導を仰いでおります。

さて、今年で創立四十周年を迎える人文会ですが、ホームページを立ち上げたのは二〇〇〇年です。そして二〇〇五年には『人文書のすすめⅢ』に収録しました人文書基本図書の検索ができるようになりました。これは言うまでもなく、書店さんの人文書の棚を活性化していただくためです。人文書を哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育、批評・評論と七つの中分類に分け、更に69の小分類に分けた本格的なものです。

今秋、『人文書のすすめⅣ』の刊行にあわせて、基本図書のリストもリニューアルいたします。新しい切り口の分類を提示し、そこに含まれるべきキーワード、キ

パーソン、ジャンルを代表する必要最低限のアイテムを紹介する予定です。

しかし、人文書は時代とともに新しい読み方、新しい並べ方を要求されるもので、分類も変化し続けます。今後も常に時代の要求に応えるように、常に書店さんのお役に立てるものにしていきたいと考えております。

今まで当ホームページをご存知の書店さんにはこのデータを活用していただいてまいりましたが、リニューアル後は更に多くの書店さんに使っていただきたいと思えます。どなたにも簡単にダウンロードできますので、必要な選書にあわせて加工が可能です。

今後も人文会ホームページをよろしくお願い申し上げます。

二〇〇八年特約店グループ訪問報告

関西方面

報告 橋元博樹（東京大学出版会）

● 期日 六月十一日（水）～六月十三日（金）

● 参加メンバー 駒谷（大月書店）・馬場（吉川弘文館）・橋元博樹（東京大学出版会）

● 訪問書店 アバンティブックセンター京都店・大垣書店烏丸三条店・ジュンク堂書店京都BAL店・ブックファースト京都店・ジュンク堂書店京都店・紀伊國屋書店高槻店・紀伊國屋書店大阪営業所・紀伊國屋書店梅田本店・ジュンク堂書店大阪本店・ブックファースト梅田店・旭屋書店本店・ジュンク堂天満橋店・紀伊國屋書店京橋店・紀伊國屋書店本町店・ジュンク堂書店難波店・紀伊國屋書店川西店・ジュンク堂書店西宮店・ジュ

ンク堂書店三宮店・紀伊國屋書店神戸店・ジュンク堂書店三宮店（計一九店舗・一営業所）

● 感想…昨年の研修が続いての、今回は少人数での関西訪問である。まずは京都地区。残念ながら一時の勢いはない。京都は数年で大きく書店地図が変わった。ここ一年の動きを見ても旭屋の撤退、ブックファーストの再進出と変化はめまぐるしい。大型店が撤退すると他の店の売上げは一時的に伸びるのだが、次第に下降線を辿り結局は元のところに落ち着いてしまうのだという。結局、書物の露出機会が減るとそれだけ販売ロスにつながるということなのだろうか。大阪地区は今回、紀伊國屋書店大阪営業所の訪問を試みた。人文会で外商部門を訪問するというのは珍しいのでお互いや緊張気味だったが、非常に丁寧に應對していただいた。人文書の売上げの多くはこうした外商担当者が担っているのであること

を改めて確認。神戸地区では新たな出店計画が話題になる。西宮ジュンク堂の至近建設中の大型SCにこの秋ブックファーストが出店する。パイが拡大することを祈りたい。

最後に、お忙しい時間にもかかわらず快くご対応くださいました書店様にこの場を借りてお礼申し上げます。

長野・群馬・新潟方面

報告 水谷幹夫（未來社）

● 期日 六月二五日（水）～二七日（金）

● 参加メンバー 新保（誠信書房）・小林（慶応義塾大学出版会）・三上（ミネルヴァ書房）・水谷（未來社）

● 訪問書店 平安堂書店長野店・戸田書店上田店・

紀伊國屋書店前橋店・煥乎堂前橋店・喜久屋書店太田店・文真堂書店ブックマンズアカデミー太田店・戸田書店前橋店・文真堂書店ブックマンズアカデミー前橋店・くまざわ書店高崎店・ジュンク堂書店新潟店・紀伊國屋書店新潟店・萬松堂本店・新潟大生協・宮脇書店長岡店

（計一四店舗）

● 感想…訪問に先立つこと約1ヶ月前、「偶然を装って店にいる」というメッセージを人づてに送ってきたのは、リブロ在籍時、人文書・「今泉棚」で名を馳せた今はフリーランスの今泉正光さんでした。氏と平安堂長野店の小峰さんを囲んでの昼食は、氏の以前と変わらぬ速射砲のようなしゃべりで終始しました。この業界については悲観的な言葉の連続でしたが、人文系もすぐれた経済学者にもっと耳を傾けるべきだ等の話も出て、腑に落ちることもあり、大いに参考になりました。

訪問は常に新鮮で、初めて訪問する書店さんはなおさらです。数十万冊の稼働書籍と年間8万点を超える書籍の新作を過酷な資本の論理に急かされるように、あらゆるもの／＼ことが交差し、混じり合いを受けながら捌き、「現在」を表現するという高度な技量を見ることのできる書店の店頭は、私たちにとって常に刺激的な場所になっています。

紙幅の都合で長野地区、群馬地区、新潟地区と分けてその印象を書くことはできませんが、この3地区だけではなく、たぶん全国的に、旧市街・老舗店舗と全国チェーン店の店舗、郊外型の単独店舗、大型ショッピングセンター、モール出店に伴う店舗が外的環境のめまぐるし

い変化に生き残りをかけた闘いを強いられているのだと思います。

今回訪問の群馬地区でそれは顕著で、車社会ということも手伝って、2003年12月イオンモール太田（喜久屋書店）、2006年10月イオンモール高崎（未来屋書店）、2007年3月ショッピングセンターけやきウォーク前橋（紀伊國屋書店）、2007年11月イオン羽生（未来屋書店）が新店し、これらモール群が老舗の煥乎堂、単独店舗の文真堂書店、戸田書店と商圈をほぼ同じくした結果、ここ数年でこの地区の書店の売場面積が約2倍になったと聞きました。また、今秋には同じ商圈の伊勢崎市東部に商業施設面積五五、〇〇〇平方メートルの大型ショッピングモール「SMARK」ができるそうです。

オーバーストアかどうかは即断できません。私見ですが、人文書は目立つほど売れる本はほとんど無く、数冊売れるのに長い時間がかかり、しかも売れる環境にないと売れていかないようです。私も含めて本を買うひととして、その書店で偶然欲しい本があるから買うのではなく、その次に買いたい本があるか、またその次に買いたい本があるか、という判断で最初の本を買うべきだと思います。知り合いの本を買うひとは「その書店に一票を投じるつもりで本を買っている」と言いました。まった

くその通りで、それは買うひとの購買姿勢の問題で、それはその書店と共振し、無言の共生に繋がってゆく行為だと思います。

今回の書店訪問でも多くのひとたちと知り合いになり、お世話になりました。あらためて、ありがとうございました。

金沢・高岡・富山方面

報告 高橋千代（晶文社）

● 期日 七月一七日（木）～七月一九日（土）

● 参加メンバー 田崎（みすず書房）・根井（平凡社）・古川（法政大学出版社）・高橋（晶文社）

● 訪問書店 リプロ金沢リファールレ店・ブックスなかだ金沢本店・うつのみや柿木畠本店・金沢ビーンズ明文堂書店・文苑堂書店示野本店・明文堂書店金沢野々市店・明文堂書店高岡射水店・喜久屋書店高岡店・文苑堂書店福田本店・清明堂本店・紀伊國屋書店富山店・ブックスなかだ本店・文苑堂書店藤の木店（計一三店舗）

● 感想…人文会としては三年ぶりの北陸訪問になる。前回と重なる地元書店も若干あるものの大半が初訪問の郊外大型店舗となり、書店地図が大きく変わったことを実感する。この三年の間に金沢市内だけで、三〇〇〇坪の売場増床があった、トリブロ金沢リファール店の斉藤店長談（同店は、二〇〇四年秋にオープン）。

石川県庁が前回移転し、うつのみや本店からは遠のもの、現在の県庁に近いビーンズ明文堂書店よりも、昔からの外商の強みで、人文書、専門書はうつのみや柿木島本店に固定客がついている。棚もきちんと基本図書が揃い、本を知る担当者がいる店こそが人文書の販売に必須であることを痛感した。

ロードサイドに駐車場を大きく備えた大型複合書店も、ショッピングセンターのモールに構えた書店も、それぞれに自店の客層を意識して、店の導入部には多面展開や仕掛けを用意し、カフェやフードコート、雑貨店やレンタル併設、居心地のいい空間づくりなど、幅広いお客を呼び込むために工夫をこらし、限られたスタッフを回して、たとえば朝は9時から深夜2時まで営業…と、大変な努力をされてお店を動かしているとは思いますが、人文書専門書といった棚で数冊売れるまで時間のかかる商品はどう揃えるべきか、そもそも棚ジャンルとして持つ必要

があるのか、考えさせられる店舗もあった。

そんな中で、前述のうつのみや本店や、富山のブックスなかだ本店など外商とベテランの力できちんとした棚を維持している老舗をいくつか拝見できたことがまず収穫の一つ。

もうひとつの収穫は、事前に研修委員会を通して文苑堂書店本部から、人文書の販売について研修会を是非持ちたいとのご依頼を受け、みず書房・田崎氏の進行により、文苑堂各店から店長、現場の担当の方々など二〇数名に集まっていたが、日頃抱えておられる販売の疑問、今後のあり方など率直に語っていただく機会を得たことだった。

この研修会は、出版社の人間にとっても、人文書を着実に売るといふことを足元から見直して考えさせられるきっかけとなり、短時間ではあったが、これを機に参加された方々と今後も販売方法を模索していきたいと思う。なお、今回お伺いした書店様、いずれもお忙しい営業時間中にご担当者様、店長様はじめ、丁寧にご対応いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

四国方面

報告 吉武創（勁草書房）

● 期日 七月一七日（木曜）～七月一九日（土曜）

● 参加メンバー 江波戸（日本評論社）・小倉（白水社）・吉武（勁草書房）

● 訪問書店 紀伊國屋書店松山店・丸三書店・明屋松山本店・愛媛大学生協城北店・高知大学生協朝倉書籍部・金高堂朝倉ブックセンター・金高堂・宮脇書店総本店・宮脇書店高松本店・紀伊國屋書店高松店・紀伊國屋書店徳島店・宮脇書店徳島本店・小山助学館本店（計一三店舗）

● 感想・特約店グループ訪問で四国を訪れるのは二年ぶりとなる。四国四県を短期間でまわるため、駅前や市街地にある書店様を中心に訪問した。

訪問した四県の市街地の中心部にはいずれも大きな商店街があり、老舗の書店様が多くある。町の中心部にある書店様に訪問すると、郊外に出来た大型商業施設へと人の流れが変化しているという話や、瀬戸大橋や鳴門大橋など本州と橋でつながったため、岡山や神戸・大阪に

行かれる人が多くなったという話をよく聞いた。

しかし、まちの中心部の空洞化に対して、ただ傍観しているのではなく、いろいろと対策をたてられていた。NHKで来年から放送されるドラマ『坂の上の雲』を軸に街づくりを行う計画や、商店街のお店が中心になって商店街の再開発を推進し、海外の有名ブランドをテナントとして入れたり、中心部の住民を増やすために住居スペースを設けたりしていた。

訪問した書店様も厳しい状況下ではあるが、自らも郊外に出店したり、改装したりしながら、それぞれの立地や客層を分析し、自店の個性を活かしながら商品構成を考え、地域に根ざした書店作りをされていた。

各地で多くの新規店が出来るなか今回四国を訪問して、書店様と出版社が双方に情報発信を行い、コミュニケーションをとりながら、お互いに顔の見える信頼関係を築くことの必要性を改めて感じた。また、そのように信頼し合える書店様をそれぞれの地域に確立することの重要性も強く感じた。

最後になりますが、今回お忙しいなかお世話になりました書店様に、あらためてお礼申し上げます。

岡山・鳥根・鳥取方面

報告 桃野一郎（筑摩書房）

● 期日 七月二三日（水）～七月二五日（金）

● 参加メンバー 鎌内（春秋社）・平石（お茶の水書房）・華園（創元社）・桃野（筑摩書房）

● 訪問書店 三省堂書店岡山駅店・本の森セルバ・丸善シンフォニービル店・喜久屋書店岡山店・紀伊國屋書店クレド岡山店・フタバ図書MEGA岡山青江店・啓文社岡山本店・喜久屋書店倉敷店・今井書店出雲店、ゆめタウン出雲店、グループセンター店、本の学校、錦町店、吉成店・定有堂

● 感想 岡山は昨年に三省堂書店とフタバ図書、今年には啓文社と喜久屋書店、と一気に四軒も増え、ゆうに二千五百坪以上の売り場が増えたことになる。一日で七軒も駆け足で訪問したから詳細は聞けなかったが、既存店にとつては大変だろう。しかし岡山市は来年、政令指定都市を目指しているらしいので、現在の人口を調べてみたらおよそ七十万。オーバーフロアが当たり前になっていて他の都市と比べると、それまでの売場面積は少なかつたのかもしれない。

さて、一番新しくて市街地では圧倒的な広さの喜久屋書店、「感動の七十万冊」の看板は伊達ではない。やはずれに位置しているが今後に期待。三省堂書店は駅ビル立地で小規模ながらバランスが良く、人文書の棚が目立つお店。既存の丸善・紀伊國屋書店・本の森セルバとどのように共存していくのだろうか。郊外の二店舗も強力。フタバ図書は広いばかりか、二階が古書売場になっており、古書売って新刊を買うという需要を創り出している。啓文社はワンフロアだが天井が高く、吊り下がったキャプションが印象的で分かりやすい。いずれも人文書に力を入れているのは、広い売場があるからだけではないことを感じさせてくれた。お隣、倉敷の喜久屋書店さんはチェーン一番店。最近PBに力を入れざるを得ないと言いなながらも、人文書もしっかりアピール。

鳥根県・鳥取県は言わずもがな、今井書店グループの牙城である。核になる都市は松江・出雲・鳥取・米子である。人口はそれぞれ一五万から二〇万人と粒揃い。今井書店はこの四都市に大きな旗艦店を構え、全店舗に顧客専用の端末を備え、各店舗の在庫の有無がわかる検索システムと在庫のある最寄り店舗から短時間で取り寄せできる顧客サービスを確立しているのである。しかもこのシステムにぶら下がるうとせず、どうしたら人文書の

機会損失をなくせるかを真剣に考えている各店舗の現場スタッフ。ひたすら感心しながらも、大変なコストがかかっているのだろうと思いつつ、これでは大手ナショナルチェーンでも割り込む余地はないと納得した。

おしまいに伺った定有堂は市街地の路面店。「店主」の奈良さんは予め冷えた部屋とお茶とお菓子で歓迎してくださいました。売場は五〇坪だが棚はユニーク！とても一言では言えない、これこそ「百聞は一見に如かず」である。常に「我が道を行く」貴重な存在だ。

これで移動は長いが三日間で一五軒という強行軍が終わった。実は私が人文会担当になって初めてのグループ訪問であり、まったく土地勘がないのに班長。班長といってもリーダーではなく雑用係。まったく、人文会というのは体育会系か？この分刻みの慌しいスケジュールである。できれば一軒ずつにもっと時間が欲しかった。

最後に、某超大型企画の最終巻発売日からの三日間であったにもかかわらず、歓迎してくださいましたすべての書の店長・ご担当の方々に感謝いたします。それから、無理やり企画した夜の懇親会に快くご参加くださった方々に重ねて感謝申し上げます。

2007 年度人文会活動報告（全般）

- 5/18 ★第 40 回（2006 年度）人文会総会
場所：伊東わかつき別邸
出席：正担当者=19 社 18 名／副担当者=1 名／担当変更=5 社 5 名合計 20 社 24 名
開始 13：40 終了 16：30
議事：
●代表幹事挨拶／総会議長選出／2006 年度活動全般報告（書記）／会計報告（会計）
●2006 年度各委員会活動報告（販売・広報）
●会則の改廃：幹事会より会長の項を加筆する旨の提案あり
●休会入会の承認：青木書店退会の確認（休会 2 年により自動的に退会）
●担当者の変更：紀伊國屋書店（段塚氏→三橋氏）／白水社（佐藤氏→小倉氏）／平凡社（藤代氏→根井氏）／みすず書房（持谷氏→田崎氏）／未來社（西谷氏→水谷氏）
●役員改選：代表幹事：鎌内宣行氏／会計幹事：平石修氏／書記幹事：新保卓夫／販売委員長：田崎洋幸氏／広報委員長：吉武創氏
- 5/21 ★幹事会
- 5/24 ★2007 年度人文会新役員の取次店挨拶
三役（代表幹事・会計・書記）
- 6/20 ★6 月例会
出版クラブ会館
例会開始前に臨時総会を開催し、菊池会長就任の承認を得る
◎講演『トーハン書籍部の今後の展望』
トーハン：取締役書籍部長鈴木仁氏／書籍部マネジャー植村政也氏
- 7/10 ★幹事会「秋の研修旅行スケジュール」詳細打ち合わせ
日販本社 3 F
- 7/18 ★7 月例会
神田文化産業信用組合
* 来会新店説明「フタバ図書岡山青江店」
フタバ図書：木村齊氏／中村氏（店長予定）

- 8/23 ★8月例会
 神田文化産業信用組合
 ＊来会新店説明「ブックスミスミオブシア店」
 ブックスミスミ：上村マネジャー（書籍統括）／的場店長
 日販：九州支店営業3課係長岩瀬氏／書籍部書籍仕入第2課長金田氏
- 9/13 ★出版5団体合同新年会打ち合わせ
 大学出版部協会事務局（鎌内・新保出席）
- 9/19 ★9月例会
 出版クラブ会館
- 10/18～20 ★2007年研修旅行（2泊3日）
 ●方面：大阪・神戸・京都
 ●訪問書店：13店舗
 ●研修会：18日紀伊國屋書店（8名）／19日ジュンク堂書店（11名）
 ●懇親会：18日新阪急ホテル出席者57名
 ●宿泊：18日＝大阪新阪急H／19日＝京都ぎおん畑中
 （旅行幹事：小林・三橋）
- 11/14 ★臨時幹事会「人文会創立40周年事業について」
 春秋社会議室
- 11/21 ★11月例会
 ハウススクエア横浜セミナールームにて（横浜市青葉区青葉台）
 [見学] 12：30～13：00 アカデミア港北店
 [研修会] 15：30～17：30 くまざわ書店グループ（20店舗約30名）
 [懇親会] 18：00～20：00 同（約50名）
- 12/19 ★12月例会
 出版クラブ会館
- 2008年
- 1/1 ○担当者変更：筑摩書房（戸田氏→桃野氏）
- 1/9 ●草思社、民事再生法の適用を東京地裁に申請
- 1/16 ★1月例会
 出版クラブ会館
- 1/25 ★臨時幹事会「40周年記念事業の骨子について」
 春秋社会議室
- 1/25 ★出版5団体合同新年会
 ホテルメトロポリタンエドモンド
- 2/20 ★2月例会
 出版クラブ会館

- 3/14 ★臨時幹事会「人文書基本図書選定について」
春秋社会議室
- 3/19 ★3月例会
出版クラブ会館
- 4/16 ★4月例会
神田文化産業信用組合
- 5/9 ★臨時幹事会「41回年次総会について」
春秋社会議室

以上

(書記幹事：新保卓夫)

第四一回人文会年次総会報告

書記幹事 新保卓夫

第四十一回の人文会年次総会は、平成二十年五月十六日に台東区の水月ホテル「鷗外荘」において全会員社出席のもとに開催されました。

議事は、二〇〇七年度（2007年5月1日～2008年4月30日）の一般的な活動報告から始まり、会計報告、販売委員会・広報委員会の活動報告と続き、新年度に向けての役員改選及び各委員会の所属メンバーを決定し、無事終了いたしました。

代表幹事には、昨年度に引き続き鎌内宣行氏（春秋社）が全会一致にて選出されました。

会計幹事には平石修氏（御茶の水書房）、書記幹事には新保卓夫（誠信書房）が選出されました。

また、昨年に引き続き会長職を置くことが承認され、菊池明郎氏（筑摩書房）の留任が承認されました。

委員会の構成は、販売委員会の下に企画・研修・図書館の三グループ、広報委員会の下に広報・ホームページの二グループ体制を継続することになりました。

販売委員長には田崎洋幸氏（みすず書房）、広報委員長には吉武創氏（勁草書房）が選出されました。

なお、今年度は、人文会創立四十周年の年であり、関連する記念事業を推進するにあたり、昨年にも増して、両委員会および各グループを横断的に機能させていくことを改めて申し合わせました。

担当者の変更があつた社は、筑摩書房（戸田氏↓桃野氏）です。

また、本総会において草思社より休会届が提出され、受理されました。

委員会構成の詳細は、巻末の「人文会名簿」をご参照ください。

人文会会員社 新刊のご案内

(2008. 4~2008. 7)

哲学・思想

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
無能力批評 労働と生存のエチカ	杉田俊介	2200	9784272430758	大月書店
オックスフォード 科学の肖像	オーウェン・ギンガリッチ編集代表	1800	9784272440481	大月書店
メンデル 遺伝の秘密を探して				
オックスフォード 科学の肖像 バヴロフ 脳と行動を解き明かす鍵	オーウェン・ギンガリッチ編集代表 ダニエル・P・トーデス著	1800	9784272440498	大月書店
ドイツ社会民主党の社会化論	小林勝	9000	9784275005830	御茶の水書房
基礎から学ぶ生命倫理学	村上喜良	2700	9784326101818	勁草書房
討議と承認の社会理論	日暮雅夫	3400	9784326101825	勁草書房
自閉症の現象学	村上靖彦	2600	9784326153954	勁草書房
健康格差と正義	ノーマン・ダニエルズ/ブルース・ケネ デイ/イチロー・カワチ著 児玉聡監訳	2500	9784326153961	勁草書房
インドの「二元論哲学」を読む	宮元啓一	2500	9784393133736	春秋社
インドの「多元論哲学」を読む	宮元啓一	2500	9784393133743	春秋社
インド哲学の教室—哲学することの試み	宮元啓一	2200	9784393133750	春秋社
哲学の〈声〉 デリダのオースティン批判論駁	スタンリー・カヴェル著 中川雄一訳	3400	9784393323090	春秋社
新しい人間観を探る	村上陽一郎編著	1800	9784393332801	春秋社
環境のオントロジー	河野哲也他編著	2300	9784393360507	春秋社
貨幣理論と景気循環 価格と生産	F. A. ハイエク著 古賀勝次郎訳	4500	9784393621714	春秋社
ハイエク全集第1巻				
個人主義と経済秩序 ハイエク全集第3巻	F. A. ハイエク著 嘉治元郎他訳	4600	9784393621738	春秋社
感覚秩序 ハイエク全集第4巻	F. A. ハイエク著 穂山貞登訳	4200	9784393621745	春秋社
建築する身体〈新版〉	荒川修作	1800	9784393955055	春秋社
学術を中心とした 和算史上の人々	平山謙	1200	9784480091284	筑摩書房

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
デリダ	ジェフ・コリンズ/ビル・メイブリン著 鈴木圭介訳	1100	9784480091352	筑摩書房
宇宙のエンドゲーム —誕生から終焉までの銀河の歴史	フレッド・アダムズ/グレッグ・ラフリン著 竹内薫訳	1400	9784480091406	筑摩書房
トポフィリア —人間と環境	イーファー・トゥアン著 小野有五・阿部一訳	1500	9784480091413	筑摩書房
自分ということ	木村敏	900	9784480091444	筑摩書房
言葉とは何か	丸山圭三郎	900	9784480091451	筑摩書房
神的な様々の場	ジャン＝リュック・ナンシー著 大西雅一郎訳	1300	9784480091512	筑摩書房
野生の哲学 —野口晴哉の生命宇宙	永沢哲	900	9784480424327	筑摩書房
故事成語で中国を読む	多久弘一	680	9784480424334	筑摩書房
増補 経済学という教養	稲葉振一郎	840	9784480424624	筑摩書房
遺伝子についてのほんとうの話	池田清彦	760	9784480687869	筑摩書房
進化論の5つの謎 —いかにして人間になるか	船木亨	760	9784480687876	筑摩書房
記憶の切繪図	志村五郎	2200	9784480860699	筑摩書房
責任という虚構	小坂井 敏晶	3500	9784130101080	東京大学出版会
死生学1 死生学とは何か	島藺進・竹内整一 編	2800	9784130141215	東京大学出版会
シリーズ脳科学2 認識と行動の脳科学	甘利俊一 監修, 田中啓治編	3200	9784130643023	東京大学出版会
ヒルティ伝	アルフレーム・シュトゥッキ	4300	9784560024683	白水社
芸術作品の根源	マルティン・ハイデッガー著 関口浩訳	1300	9784582766455	平凡社
コペルニクス的宇宙の生成 II	ハンス・ブルーメンベルク著 小熊正久・座小田 豊・後藤嘉也訳	5000	9784588007620	法政大学出版局
新しい学2	ジャンバッティスタ・ヴィーコ著 上村忠男訳	4200	9784588008788	法政大学出版局
新しい学3	ジャンバッティスタ・ヴィーコ著 上村忠男訳	3500	9784588008795	法政大学出版局
シニェボンジュ	ジャック・デリダ著 梶田裕訳	3000	9784588008924	法政大学出版局

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
近代の再構築 —日本政治イデオロギーにおける自然の概念— 啓蒙の精神—明日への遺産— 零度のエクリチュール 新版	ジュリア・アデニー・トーマス著 杉田米行訳	3800	9784588008948	法政大学出版局
丸山眞男話文集 1 ルーダンの憑依 小さな哲学史 東洋的な生きかた 表現 2 知の前衛たち	ツヴェタン・トドロフ著 石川光一訳 ロラン・バルト 丸山眞男手帖の会編 ミシェル・ド・セルトー アラン 小坂国継 京都精華大学表現研究機構 寺出道雄	2200 2400 4600 6500 2800 3500 2000 2400	9784588008955 9784622073802 9784622073819 9784622073970 9784622074076 9784623051397 9784623051557 9784623052097	法政大学出版局 みすず書房 みすず書房 みすず書房 みすず書房 ミネルヴァ書房 ミネルヴァ書房 ミネルヴァ書房
心 理				
10代のセルフケア6 傷つけられていませんか? …虐待的な関係を見直す	カーリーン・コプ著 水澤都加佐・水澤寧子監訳	1300	9784272405466	大月書店
10代のセルフケア7 PTSDってなに?…トラウマ体験後のケア	キャロリン・シンブソン他著 水澤都加佐監訳	1400	9784272405473	大月書店
自己評価メソッド 自分とうまくつきあうための心理学	クリストフ・アンドレ著 高野優訳	2200	9784314010504	紀伊國屋書店
医療・看護・ケアスタッフのための 実践 NLP セルフコーチング	スザンヌ・ヘンウッド他著 橋本敦夫訳	2300	9784393360491	春秋社
からだは嘘をつかない	アレクサンダー・ローエン著 国永史子訳	2200	9784393364987	春秋社
へこまない人は知っている アタッチメント障害とその治療	蓮村誠 カール・ハインツ・ブリッシュ著	1800 4200	9784393365014 9784414303001	春秋社 誠信書房
臨床心理士資格試験問題集 1 童話療法	数井みゆき・遠藤利彦監訳 (財)日本臨床心理士資格認定協会 蘭 香代子	2000 2800	9784414400410 9784414400427	誠信書房 誠信書房
ラカン派精神分析入門	ブルース・フィンク著 中西之信・椿田貴史・舟木徹男・信友健志訳	5000	9784414414301	誠信書房

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
患者と分析者 [第2版]	J. サンドラー/C. デア/A. ホルダー著 藤山直樹・北山修監訳	3000	9784414414318	誠信書房
うつ病の心理	内海 健	2800	9784414429190	誠信書房
四天王寺カウンセリング講座 8	四天王寺監修 東山紘久・杉浦京子・成瀬悟策・富士見幸雄・菅野信夫・坂本玲子	1800	9784422113586	創元社
治療精神医学の実践	辻悟	3600	9784422114064	創元社
子どものための認知療法練習帳ガイドブック	R. D. フリードバーグ/L. E. クロスビー 著 長江信和・元村直靖・大野裕訳	2500	9784422114071	創元社
うつが晴れるダイアリー	林吉夫	1200	9784422114088	創元社
生涯発達ダイナミクス 知の多様性 生きかたの可塑性	鈴木忠	3200	9784130133012	東京大学出版会
質的心理学講座2 人生と病いの語り	やまだようこ編	3500	9784130151221	東京大学出版会
質的心理学講座3 社会と場所の経験	サトウタツヤ・南博文編	3500	9784130151238	東京大学出版会
パーソナリティ障害	福島晃	1400	9784535561014	日本評論社
スクールカウンセリングの基礎と経験	馬場謙一・松本京介	2500	9784535562578	日本評論社
躁うつ病とつきあう 第2版	加藤忠史	1500	9784535562615	日本評論社
タイムマシン心理療法	黒沢幸法	1900	9784535562646	日本評論社
うつ病の真実	野村総一郎	1700	9784535562653	日本評論社
子どもの相談・治療ハンドブック	全国情緒障害児短期治療施設協議会	1800	9784535562660	日本評論社
言葉と沈黙	松本雅彦	4000	9784535982741	日本評論社
現代フロイト読本 1	西園昌久監修 北山修編集代表	3400	9784622073659	みすず書房
現代フロイト読本 2	西園昌久監修 北山修編集代表	3600	9784622073666	みすず書房
DSM-V 研究行動計画	クッファー/ファースト/レジエ編	7200	9784622073949	みすず書房
解離性障害の治療技法	細澤仁	3400	9784622073987	みすず書房
関係精神分析の視座	S. A. ミッチェル著 横井公一、辻河昌登監訳	4200	9784623050680	ミネルヴァ書房

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
発達114号		1200	9784623051755	ミネルヴァ書房
宗 教				
今日を生きるブッダのことは「スッタニパータ」篇	宮坂有勝	1600	9784393133651	春秋社
グライ・ラマ 愛と非暴力〈普及版〉	グライ・ラマ 14 世著 三浦順子訳	1500	9784393133675	春秋社
マンドラ事典 100のキーワードで読み解く	森雅秀	1900	9784393135433	春秋社
日本人の神たち仏たち	菅原信海	1905	9784393135440	春秋社
禅問答と悟り	鈴木大拙	1400	9784393142745	春秋社
禅による生活	鈴木大拙	1500	9784393142752	春秋社
禅仏教入門	鈴木大拙	1400	9784393142769	春秋社
弓と禅	中西政次	1700	9784393144152	春秋社
剣と禅	大森曹玄	1700	9784393144169	春秋社
禅の神髄 無門関	安谷白雲	3000	9784393144176	春秋社
山岡鉄舟	大森曹玄	1700	9784393147108	春秋社
観音の光に包まれて	大原弘盟 町田宗風	1800	9784393153291	春秋社
禅の神髄 従容録	安谷白雲	4500	9784393153307	春秋社
人はなぜ巡礼に旅立つのか	松尾心空	1619	9784393172827	春秋社
神道〈はだ〉で知る	葉室頼昭	1600	9784393299227	春秋社
すべての望みを叶える! 引き寄せの法則・実現ノート	ブレンダ	1600	9784393364970	春秋社
ドラゴン・ノート	田中良枝	1600	9784393435120	春秋社
ヨーガ・セラピー	スワミ・クヴァラヤーナンダ他著 山田久仁子訳	1900	9784393710654	春秋社
生まれて育つ いのちの気功	天野泰司	1500	9784393716212	春秋社
〈こころ〉の折り紙 仏像をつくる	河合敦子	1400	9784393951323	春秋社
モーセに学ぶ失意を克服する生き方	ハロルド・S・クシュナー著 松宮克昌訳	2300	9784422143750	創元社

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
チベット密教	ツルテム・ケサン	950	9784480091437	筑摩書房
死生学3 ライフサイクルと死	武川正吾・西平直編	2800	9784130141239	東京大学出版会
イスラームから考える	師岡カリマ・エルサムニー	2000	9784560031827	白水社
増補大神宮叢書 15 神宮隨筆大成 前篇	神宮司庁蔵版	10000	9784642003957	吉川弘文館
増補大神宮叢書 16 神宮隨筆大成 後編	神宮司庁蔵版	10000	9784642003964	吉川弘文館
歴史文化セレクション 仏像の再発見	西村公朝	3800	9784642063463	吉川弘文館

歴史

「百人斬り競争」と南京事件 史実の解明から歴史対話へ	笠原十九司	2600	9784272520800	大月書店
これならわかる東北の歴史 Q&A	一戸富士雄・榎森進	1500	9784272520817	大月書店
部落有林野の形成と水利	北條浩・宮平真弥	5000	9784275005656	御茶の水書房
時を旅する	武田専	3200	9784766414738	慶應大学出版会
現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記（普及版）第1巻 アメリカ編	久米邦武編著	1600	9784766414868	慶應義塾大学出版会
現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記（普及版）第2巻 イギリス編	久米邦武編著	1800	9784766414875	慶應義塾大学出版会
現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記（普及版）第3巻 ヨーロッパ大陸編 上	久米邦武編著	1800	9784766414882	慶應義塾大学出版会
現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記（普及版）第4巻 ヨーロッパ大陸編 中	久米邦武編著	1800	9784766414899	慶應義塾大学出版会
現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記（普及版）第5巻 ヨーロッパ大陸編 下 附 帰航日程	久米邦武編著	1800	9784766414905	慶應義塾大学出版会
現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記 全5巻 総索引	水澤周	500	9784766414912	慶應義塾大学出版会
旧外交の形成	千葉功	5700	9784326200498	勁草書房
江戸名物を歩く	佐藤孔亮	1900	9784393482360	春秋社
絵と物語でたどる古代史1 歴史のはじまり	ロイ・バレル, ビーター・コノリール	2900	9784794920096	晶文社

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
絵と物語でたどる古代史2 ギリシア	ロイ・バレル, ピーター・コノリー	3200	9784794920102	晶文社
絵と物語でたどる古代史3 ローマ	ロイ・バレル, ピーター・コノリー	3200	9784794920119	晶文社
スペイン内戦 ~革命と反革命~ 上	バーネット・ボロテン	9000	9784794967183	晶文社
スペイン内戦 ~革命と反革命~ 下	バーネット・ボロテン	11000	9784794967190	晶文社
フリーメイソンのすべて ~その歴史・象徴・秘密~	W・カーク・マクナルティ著 武井摩利訳	4800	9784422202686	創元社
古代エジプト女王・王妃歴史誌	ジョイス・ティルディスレイ著 吉村作治監修	3600	9784422215198	創元社
京都名所むかし案内	本渡章	1800	9784422250526	創元社
象徴天皇制と皇位継承	笠原英彦	700	9784480064172	筑摩書房
縄文の思考	小林達雄	700	9784480064189	筑摩書房
漢字を生んだ社会 一般王朝と甲骨文字	落合淳思	720	9784480064318	筑摩書房
「海洋国家」日本の戦後史	宮城大蔵	720	9784480064325	筑摩書房
日本の百年7 アジア解放の夢	橋川文三編著	1500	9784480090775	筑摩書房
日本の百年8 果てしなき戦線	橋川文三・今井清一編著	1500	9784480090782	筑摩書房
日本の百年9 廃墟の中から	鶴見俊輔編著	1500	9784480090799	筑摩書房
地中海世界のイスラム	W・モンゴメリ・ワット	1000	9784480091482	筑摩書房
田中清玄自伝	田中清玄・大須賀瑞夫	880	9784480424402	筑摩書房
それからの海舟	半藤一利	780	9784480424433	筑摩書房
日本史の誕生	岡田英弘	800	9784480424495	筑摩書房
若い人に語る 戦争と日本人	保阪正康	760	9784480687883	筑摩書房
中世社会の一揆と宗教	峰岸純夫	6800	9784130201452	東京大学出版会
現代中国の歴史 兩岸三地100年のあゆみ	久保亨・土田哲夫・高田幸男・井上久士	2800	9784130220224	東京大学出版会
天皇・天皇制をよむ	歴史科学協議会編, 木村茂光監修, 山田朗監修	2800	9784130230544	東京大学出版会
台湾の政治 中華民国台湾化の戦後史	若林正文	6800	9784130301466	東京大学出版会
日本憲政史	坂野潤治	3500	9784130301473	東京大学出版会
井上毅伝 史料篇補遺第二	國學院大學日本文化研究所編	12000	9784130979825	東京大学出版会

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
アウシュヴィッツ後の反ユダヤ主義	ヤン・T・グロス	3800	9784560026311	白水社
ヨーロッパ人相学	柏木 治	3400	9784560026342	白水社
ベルリン終戦日記	アントニー・ビーヴァー	2600	9784560092088	白水社
濟州島四・三事件	文京沫	2400	9784582454376	平凡社
古代人と死	西郷信綱	1400	9784582766400	平凡社
昭和史の一級資料を読む	保阪正康・広瀬順晴	780	9784582854183	平凡社
将軍家御典医の娘が語る江戸の面影	安藤優一郎	700	9784582854190	平凡社
戦国史の怪しい人たち	鈴木真哉	760	9784582854206	平凡社
蘇我氏の古代史	武光誠	760	9784582854213	平凡社
かなづかい入門	白石良夫	740	9784582854268	平凡社
マルコ・ポーロと世界の発見	ジョン・ラーナー著 野崎嘉信・立崎秀和訳	4700	9784588008863	法政大学出版局
長い18世紀のイギリス都市—1680—1840—	ジョイス・M. エリス著 松塚俊三・小西恵美・三時眞貴子訳	2900	9784588022357	法政大学出版局
朝鮮朝宮中風俗の研究	金用淑(金・ヨンスク)	8800	9784588080296	法政大学出版局
人魚(にんぎょ)	田辺悟	3200	9784588214318	法政大学出版局
染織の黒衣(くろこ)たち	菊池昌治	2800	9784588300509	法政大学出版局
文化史とは何か	ピーター・バーク著 長谷川貴彦訳	2400	9784588350030	法政大学出版局
博物館の歴史	高橋雄造	6900	9784588371165	法政大学出版局
沖縄基地問題の歴史 非武の島, 戦の島	明田川融	4000	9784622073741	みすず書房
イーハトーブ温泉学	岡村民夫	3200	9784622073932	みすず書房
石炭で栄え滅んだ大英帝国	山崎勇治	5000	9784623050963	ミネルヴァ書房
スターリンとヒットラーの軛のもとで	M. B. ノイマン著 林晶訳	3800	9784623051335	ミネルヴァ書房
西田天香	宮田昌明	3000	9784623051533	ミネルヴァ書房
福澤諭吉	平山洋	3000	9784623051663	ミネルヴァ書房
経済衰退の歴史学	R. イングリッシュ/M. ケニー編著 川北稔訳	6000	9784623051717	ミネルヴァ書房
なかった第五号	古田武彦直接編集	2200	9784623051908	ミネルヴァ書房
キンダートランスポートの少女	ヴェラ・ギッシング	2500	9784624111991	未 來 社

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
誰でも読める日本近代史年表	吉川弘文館編集部編	4200	9784642014458	吉川弘文館
古代の王権祭祀と自然	三宅和朗	12000	9784642024679	吉川弘文館
律令官人制と地域社会	中村順昭	11000	9784642024686	吉川弘文館
唐王朝と古代日本	榎本淳一	10000	9784642024693	吉川弘文館
永原慶二著作選集 第10巻	永原慶二	15000	9784642026895	吉川弘文館
現代語訳吾妻鏡3 幕府と朝廷	五味文彦・本郷和人編	2200	9784642027106	吉川弘文館
伊達政宗の研究	小林清治	12000	9784642028752	吉川弘文館
越前朝倉氏の研究	松原信之	12000	9784642028769	吉川弘文館
中世公武新制の研究	佐々木文昭	10000	9784642028776	吉川弘文館
江戸幕府財政史料集成 下巻	大野瑞男編	19000	9784642034289	吉川弘文館
近世の宗教と社会1 地域のひろがりと宗教	高埜利彦他編	12000	9784642034296	吉川弘文館
近世の宗教と社会2 国家権力と宗教	井上智勝・高埜利彦編	11000	9784642034302	吉川弘文館
近世都市空間の関係構造	岩本馨	9500	9784642034326	吉川弘文館
明治日本と万国博覧会	伊藤真実子	7000	9784642037853	吉川弘文館
幕末維新期の社会変革と群像	田中正弘	11000	9784642037860	吉川弘文館
人物叢書 253 足利義持	伊藤喜良	2000	9784642052467	吉川弘文館
人物叢書 254 今川義元	有光友學	2100	9784642052474	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー-254 贈答と宴会の中世	盛本昌広	1700	9784642056540	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー-255 江戸の捨て子たち	沢山美果子	1700	9784642056557	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー-256 神君家康の誕生	曾根原理	1700	9784642056564	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー-257 江戸の武家名鑑	藤實久美子	1700	9784642056571	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー-258 大飢饉、室町社会を襲う!	清水克行	1700	9784642056588	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー-259 検証島原天草一揆	大橋幸泰	1700	9784642056595	吉川弘文館
戦争の日本史9 応仁・文明の乱	石田晴男	2500	9784642063197	吉川弘文館
戦争の日本史19 日清戦争	原田敬一	2500	9784642063296	吉川弘文館
歴史文化セレクション 信長と石山合戦	神田千里	2000	9784642063470	吉川弘文館
歴史と古典 古事記を読む	三浦佑之	2800	9784642071505	吉川弘文館
歴史と古典 源氏物語を読む	瀧浪貞子編	2800	9784642071512	吉川弘文館

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
歴史と古典 仮名手本忠臣蔵を詠む	服部幸雄編	2800	9784642071529	吉川弘文館
継体天皇の時代 徹底討論 今城塚古墳	高槻市教育委員会編	2600	9784642079884	吉川弘文館
邪馬台国と地域王国	門脇禎二	2800	9784642079891	吉川弘文館
モノと男の戦後史	石谷二郎・天野正子著	2800	9784642079907	吉川弘文館
古文書研究 第65号	日本古文書学会編	3800	9784642087612	吉川弘文館
戦国史研究 第55号	戦国史研究会編集	667	9784642092234	吉川弘文館
鎌倉遺文研究 第21号	鎌倉遺文研究会	2000	9784642092661	吉川弘文館
古墳時代の実像	土生田純之編	9500	9784642093156	吉川弘文館
馬冑が来た道	金井塚良一	16000	9784642093163	吉川弘文館

社 会

9条を輸出せよ! 非軍事・平和構築の時代へ	吉岡達也	1500	9784272210978	大月書店
ハロー、僕は生きてるよ。 イラク最激戦地からログイン	カーシム・トゥルキ著 高遠菜穂子・細井明美編訳	1500	9784272210985	大月書店
ゆっくりノートブック1 そろそろスローフード 今、何をどう食べるのか?	島村菜津・辻信一著	1200	9784272320318	大月書店
フランス ジュネスの反乱 主張し行動する若者たち	山本三春	2000	9784272330546	大月書店
GNH もうひとつの〈豊かさ〉へ、10人の提案	辻信一編著	1800	9784272330553	大月書店
AV神話 アダルトビデオをまねてはいけない	杉田聡	1700	9784272350285	大月書店
闇こそ皆 上野英信の軌跡	川原一之	2600	9784272540464	大月書店
長生きにはわけがある	児玉昌彦	1500	9784272612215	大月書店
社会政策:歴史と課題	保谷六郎	3600	9784275005618	御茶の水書房
サンゴ礁の景観史	近森 正編	8000	9784766414783	慶應義塾大学出版会
慶應義塾で学んだ女性たち	慶應婦人三田会 [プロジェクトF]	2500	9784766414974	慶應義塾大学出版会
SFC総合政策学シリーズ 大都市郊外の変容と「協働」	大江守之・駒井 晶	3000	9784766415209	慶應義塾大学出版会
SFC総合政策学シリーズ ソシオセマンティクスを創る	深谷昌弘編	3400	9784766415230	慶應義塾大学出版会

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
慶應義塾大学法学部渋谷栄一記念財団寄附講座 日本の世界貢献とシヴィル・ソサエティ 在宅医療ソーシャルワーク	渋谷雅英編 村上須賀子・京極高宣・永野なおみ編著	2200 2200	9784766415377 9784326602094	慶應義塾大学出版会 勁草書房
女性が福祉社会で生きるということ 保健医療ソーシャルワーク論	杉本貴代栄 田中千枝子	2500 2200	9784326602100 9784326602117	勁草書房 勁草書房
贈与論 新装版 「育児休職」協約の成立	マルセル・モース著 有地亨訳 萩原久美子	3800 3500	9784326602124 9784326648795	勁草書房 勁草書房
なぜ「教育が主戦場」となったか 無手の法悦	栗田哲也 大石順教	2000 1500	9784326653355 9784393137284	勁草書房 春秋社
優しくしたいのにできない—親の「老い」上手につきあう智恵と工夫 母が重くてたまらない 墓守娘の嘆き	アール&シャロン・グロルマン著 松田敬一訳 信田さよ子	1800 1700	9784393364895 9784393366257	春秋社 春秋社
カーター、パレスチナを語る ～アパルトヘイトではなく平和を～	ジミー・カーター	2300	9784794967176	晶文社
介護福祉士基本問題集 09 福祉の哲学 改訂版	岡田慎一郎監修 阿部志郎	1800 1700	9784794976628 9784414603293	晶文社 誠信書房
心が明るくなる室内ゲーム & 遊び 43	財団法人日本レクリエーション協会監修 東正樹・服部明子・村山哲也	1800	9784422320687	創元社
元気が出る室内ゲーム & 遊び 45	財団法人日本レクリエーション協会監修 東正樹・服部明子・村山哲也	1800	9784422320694	創元社
都市再生・街づくり学 社会学の名著 30	大阪市街地再開発促進協議会 竹内洋	2400 740	9784422501192 9784480064196	創元社 筑摩書房
部長の経営学 医療再生は可能か	吉村典久 川渕孝一	740 700	9784480064219 9784480064226	筑摩書房 筑摩書房
いま、働くということ 私塾のすすめ —ここから創造が生まれる	大庭健 齋藤孝・梅田望夫	780 680	9784480064233 9784480064257	筑摩書房 筑摩書房
金融 vs. 国家 社会不安障害	倉都康行 田島治	740 680	9784480064288 9784480064301	筑摩書房 筑摩書房

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
若者はなぜ正社員になれないのか	川崎昌平	700	9784480064349	筑摩書房
医療格差の時代	米山公啓	680	9784480064370	筑摩書房
金子勝の現代経済学入門	金子勝	680	9784480064400	筑摩書房
橋爪大三郎の社会学入門編	橋爪大三郎	1200	9784480091475	筑摩書房
橋爪大三郎の政治・経済学講義	橋爪大三郎	1200	9784480091543	筑摩書房
公安調査庁の深層	野田敏生	840	9784480424471	筑摩書房
「見えざる手」が経済を動かす	池上彰	720	9784480687821	筑摩書房
何でも僕に訊いてくれ	加藤典洋	1600	9784480842855	筑摩書房
格差と希望 一誰が得をしているか?	大竹文雄	1800	9784480863836	筑摩書房
アメリカ型福祉国家と都市政治 ニューヨーク市におけるアーバン・リベラリズムの展開	西山隆行	6500	9784130362313	東京大学出版会
越境の人類学 在日パキスタン人ムスリム移民の妻たち	工藤正子	6500	9784130563031	東京大学出版会
置き去り社会の孤独	大津和夫	1800	9784535585409	日本評論社
ブラートの商人	イリオ・オリゴ	5600	9784560026335	白水社
女優の誕生と終焉 パフォーマンスとジェンダー	池内靖子	3600	9784582472318	平凡社
韓国家族制度の研究	金斗憲 (キム・ドゥホン)	9600	9784588080302	法政大学出版局
中国の人的資源—豊かささと持続可能性への挑戦—	田雪原・王国強編 中国人口学会著 法政大学大学院エイジング総合研究所 訳	6000	9784588625190	法政大学出版局
生命というリスク—二〇世紀社会の再生産戦略—	川越修・友部謙一編著	3400	9784588672088	法政大学出版局
分別される生命—二〇世紀社会の医療戦略—	川越修・鈴木晃仁編著	3500	9784588672095	法政大学出版局
遠きにおいてつくるもの	細川周平	5200	9784622073796	みすず書房
ロスト・ジェネレーション 異郷からの帰還	マルカム・カウリー	4800	9784622073888	みすず書房
現代世界の女性リーダーたち	石井貫太郎編著	3200	9784623049943	ミネルヴァ書房
障害者福祉論	基礎からの社会福祉編集委員会編	2800	9784623050222	ミネルヴァ書房
アメリカ帝国とは何か	ロイド・ガードナー/マリリン・ヤング 編著 松田武・菅英輝・藤本博訳	5000	9784623050420	ミネルヴァ書房
家族福祉論	川村匡由編著	2400	9784623050611	ミネルヴァ書房

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
相談援助のための福祉実習ハンドブック	関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会	3000	9784623050758	ミネルヴァ書房
多文化主義の福祉国家	新川敏光編著	4800	9784623050789	ミネルヴァ書房
精神保健福祉論	大熊由紀子・北野誠一・佐藤久夫・竹端寛・山本深雪編著	3600	9784623050796	ミネルヴァ書房
生活保護改革と地方分権化	京極高直	4000	9784623051014	ミネルヴァ書房
学問とは何か	羽入辰郎	6000	9784623051069	ミネルヴァ書房
障害者・家族の生活問題	高林秀明	2500	9784623051168	ミネルヴァ書房
環境再生のまちづくり	宮本憲一監修	3500	9784623051199	ミネルヴァ書房
社会保障と年金制度（第2版）	本沢一善	3000	9784623051311	ミネルヴァ書房
アメリカのシンクタンク	横江公美	2400	9784623051328	ミネルヴァ書房
新しい時代の社会福祉サービス論	今村理一編著	3200	9784623051380	ミネルヴァ書房
親が倒れる前に必ず読んでおきたい本	望月幸代	1600	9784623051526	ミネルヴァ書房
文化社会学の視座	南田勝也・辻泉編著	2800	9784623051588	ミネルヴァ書房
福祉社会開発学	二木立編著	3000	9784623051687	ミネルヴァ書房
入門社会福祉の法制度（第3版）	蟻塚昌克	2800	9784623051731	ミネルヴァ書房
地域福祉の原点を探る	川村匡由編著	2800	9784623051748	ミネルヴァ書房
沖縄民俗辞典	渡邊欣雄他編	8000	9784642014489	吉川弘文館
日本の民俗3 物と人の交流	川森博司他著	3000	9784642078702	吉川弘文館
日本の民俗6 村の暮らし	湯川洋司他編	3000	9784642078733	吉川弘文館

教 育

育つ力と育てる力 乳幼児の年齢別ポイント (子育てと健康シリーズ27)	丸山美和子	1700	9784272403271	大月書店
自閉症児さとしの一日 物語から学ぶ発達障害	成沢真介	1500	9784272411948	大月書店
啓祐、君を忘れない いじめ自殺の根絶を求めて	森順二・森美加著	1200	9784272411955	大月書店
学びをつむぐ（協働）が育む教室の絆	金子奨	1800	9784272411962	大月書店
ことばの力を育む	大津由紀雄・窪菌晴夫	1600	9784766414714	慶應義塾大学出版会
発達障害児の学習意欲をはぐくむ	川村秀忠	2000	9784766414943	慶應義塾大学出版会

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
教師の専門性とアイデンティティ	久富善之編著	3800	9784326250578	勁草書房
手紙でつむぐ 親子のきずな ―はくらがもらった宝物―	岡村精二編著	1500	9784422120379	創元社
中高一貫校 公立校の逆襲	日能研進学情報室 藤原和博	680 680	9784480064264 9784480424365	筑摩書房 筑摩書房
いちばんさいしょの算数1 ―たし算とかけ算	橋本治	760	9784480687913	筑摩書房
感受性を育む 現象学的教育学への誘い	中田基昭	3200	9784130513142	東京大学出版会
読書教育	辻由美	2400	9784622073772	みすず書房
よくわかる特別支援教育	湯浅恭正編	2400	9784623050888	ミネルヴァ書房
ふしぎだね てんかんのおともだち	原仁監修	1800	9784623051106	ミネルヴァ書房
発達って、障害ってなんだろう？	日原信彦監修	1800	9784623051304	ミネルヴァ書房
生徒指導の新展開	岩城孝次、森嶋昭伸	2500	9784623051670	ミネルヴァ書房
教職概論	田中耕二郎・井ノ口淳三編著	2000	9784623051762	ミネルヴァ書房
本当の才能を見つけて育てよう	松村暢隆	2000	9784623051793	ミネルヴァ書房
「気になる子ども」の教育相談ケースファイル 批評・評論	新井英靖	2200	9784623052080	ミネルヴァ書房
表象メディア論講義 正義篇	原宏之	2400	9784766415452	慶應義塾大学出版会
宇宙ダンス 新しい身体をつくる	福原哲郎	1800	9784393332825	春秋社
白秋への小径	北原東代	1714	9784393436301	春秋社
詩人の面影 近代日本の抒情詩	由井龍三	1700	9784393436318	春秋社
神こそわが王 精神史としてのバツハ マネ	丸山佳介 フランソワーズ・カシャン著 藤田治 彦監修 遠藤ゆかり訳	4000 1600	9784393937723 9784422211978	春秋社 創元社
ダダ	マルク・ダシー著 藤田治彦監修 遠藤ゆかり訳	1500	9784422211985	創元社
衆生の倫理	石川忠司	740	9784480064127	筑摩書房
変貌する民主主義	森政稔	780	9784480064240	筑摩書房
代表的日本人	齋藤孝	700	9784480064394	筑摩書房
山水思想 ―「負」の想像力	松岡正剛	1500	9784480091420	筑摩書房

書名	著編監修者	本体価格	ISBN	出版社名
増補 折口信夫	松浦寿輝	1100	9784480091529	筑摩書房
世界のピアニスト 吉田秀和コレクション	吉田秀和	1300	9784480423931	筑摩書房
パンツの面目ふんどしの沽券	米原万里	640	9784480424228	筑摩書房
もっと、狐の書評	山村修	800	9784480424570	筑摩書房
古代から来た未来人 折口信夫	中沢新一	700	9784480687845	筑摩書房
日韓ナショナルリズムの解体 — 「複数のアイデンティティ」を生きる思想	李建志	2200	9784480842862	筑摩書房
やりとげる力	ステイーヴン・プレスフィールド著 宇佐和通訳	1500	9784480863829	筑摩書房
金持ち父さんの金持ちがますます金持ちになる理由	ロバート・キヨサキ著	1500	9784480863843	筑摩書房
体の中の美術館 — EYE, BRAIN, and BODY	井上純子訳 布施英利	2000	9784480873590	筑摩書房
ACADEMIC GROOVE 東京大学アカデミックグループ	東京大学編	1200	9784130033305	東京大学出版会
人間の安全保障	高橋哲哉・山影進編	2800	9784130033527	東京大学出版会
鳥学大全	秋篠宮文仁・西野嘉章編	9500	9784130603508	東京大学出版会
観衆の成立 美術展・美術雑誌・美術史	五十殿利治	5600	9784130802093	東京大学出版会
ロマネスクの宇宙 ジローナの《天地創造の刺繍布》を読む	金沢百枝	12000	9784130860376	東京大学出版会
荷風と私の銀座百年	永井永光	2000	9784560031865	白水社
ディアスポラ之力	ジョナサン・ボヤーリン/ダニエル・ボヤーリン著 赤尾光春・早尾貴紀訳	4800	9784582702750	平凡社
フロイトのイタリア	岡田温司	3800	9784582702798	平凡社
グリム兄弟—メルヘン論集—	J. & W. グリム著 高木昌史・高木万里子編訳	2700	9784588008917	法政大学出版局
実践批評	I・A・リチャーズ	3500	9784622073765	みすず書房
Doing 思想史	テツオ・ナジタ	3200	9784622073925	みすず書房
若き高杉一郎 改造社の時代	太田哲男	3500	9784624601089	未来社

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出 版 社 名
俳優の仕事 俳優教育システム 第1部	スタニスラフスキー	5800	9784624700904	未 來 社

人文会会員名簿

〒101-0021 千代田区外神田 2-18-6 春秋社内

2008年8月末現在

社名	担当者	〒	住所	電話	FAX
大月書店	駒谷 光彦	113-0033	文京区本郷 2-11-9	3813-4651	3813-4656
御茶の水書房	平石 修	113-0033	文京区本郷 5-30-20	5684-0751	5684-0753
紀伊國屋書店	三橋 直也	153-8504	目黒区下目黒 3-7-10	6910-0519	6420-1354
慶應義塾大学出版会	小林 文生	108-8346	港区三田 2-19-30	3451-6926	3451-3124
勁草書房	吉武 創	112-0005	文京区水道 2-1-1	3814-6861	3814-6854
春秋社	鎌内 宣行	101-0021	千代田区外神田 2-18-6	3255-9611	3253-1384
晶文社	高橋 千代	101-0021	千代田区外神田 2-1-12	3255-4501	3255-4506
誠信書房	新保 卓夫	112-0012	文京区大塚 3-20-6	3946-5666	3945-8880
創元社	華園 斉	162-0825	新宿区神楽坂 4-3 煉瓦塔ビル	3269-1051	5229-7139
筑摩書房	桃野 一郎	111-8755	台東区蔵前 2-5-3	5687-2680	5687-2685
東京大学出版会	橋元 博樹	113-8654	文京区本郷 7-3-1	3811-8814	3812-6958
日本評論社	江波戸 茂	170-8474	豊島区南大塚 3-12-4	3987-8621	3987-8590
白水社	小倉 研二	101-0052	千代田区神田小川町 3-24	3291-7811	3291-8448
平凡社	根井 浩一	112-0001	文京区白山 2-29-4 (泉白山ビル)	3818-0874	3818-0674
法政大学出版局	成田 共助	102-0073	千代田区九段北 3-2-7	5214-5540	5214-5542
みすず書房	田崎 洋幸	113-0033	文京区本郷 5-32-21	3814-0131	3818-6435
ミネルヴァ書房	三上 直樹	101-0054	千代田区神田錦町 3-6 石沢ビル 3F	3296-1615	3296-1620
未來社	水谷 幹夫	112-0002	文京区小石川 3-7-2	3814-5521	3814-8600
吉川弘文館	馬場 正彦	113-0033	文京区本郷 7-2-8	3813-9151	3812-3544

(休会：草思社)

会長 菊池明郎 (筑摩書房)
 代表幹事 鎌内宣行
 会計幹事 平石 修
 書記幹事 新保卓夫

(◎委員長 ○副委員長)

販売委員会 ・企画グループ ○華園 斉・馬場正彦・駒谷光彦・水谷幹夫
 ・研修グループ ◎田崎洋幸・小倉研二・根井浩一
 ・図書館グループ ○橋元博樹・成田共助・三橋直也
 広報委員会 ・広報グループ ◎吉武 創・三上直樹・高橋千代
 ・ホームページグループ ○桃野一郎・小林文生・江波戸茂

人文会 H.P <http://www.jinbunkai.com>

法政大学出版局

http://www.h-up.com/

高橋雄造 著

博物館の歴史

古代の宝物庫からルネサンス期のヘキサビネットを経て、現代のサイエンスセンターにいたる博物館の歴史を、その方法論の形成を軸にあとづける

P・パーク 著／長谷川貴彦 訳 2520円

文化史とは何か

文化史の多様性、それを巡る論争と対立、共有される関心や伝統など、世界的規模で展開する文化史研究の過去・現在・未来を論じた格好の入門書

7245円

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7
☎03(5214)5540 / 表示価格は税込です

ベルリン・オリンピックピック1936

◎ナチの競技◎

ドイツ・クレイ・ラージ 高橋進訳

■3675円

独裁体制下における「平和の祭典」の全貌——各国の思惑とボイコット運動、ユダヤ人や黒人への迫害、各競技の様子など、「スポーツと政治」の癒着を歴史的に徹底検証する。

ユダヤ人財産はだれのものか

◎ホロコーストからパレスチナ問題へ◎

武井彩佳

■2730円

略奪されたユダヤ人の財産は戦後、どのように返還され、補償はどのようになされたのか。例外的に成功を取っていた財産返還問題について、パレスチナ問題までも視野に入れて論述していく。

白水社

東京都千代田区神田小川町 3-24
tel.03-3291-7811/fax.03-3291-8448

http://www.hakusuisha.co.jp/ * 価格は税込

済州島 四・三事件

「タムナ島のく」の死と再生の物語

文京洙 著

凄惨なジェノサイドが行われた事件の歴史的背景と経緯、そしてその恐怖から立ち直り、歴史と真実を回復した島の歴史を語る。

四六判 ●2520円

日韓共同編集 グローバル化時代をいかに生きるか

国際理解のためのレッスン

ユネスコ・アジア太平洋国際理解教育院 企画
韓敬九・桑山敬己 編集代表

日韓共同で編集した国際理解教育、多文化主義教育の高校生・大学生向けテキスト。グローバル化時代の新しい生き方を考える。

A5判 ●2310円

平凡社

〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4 [価格税込]
TEL 03-3818-0874 http://www.heibonsha.co.jp/

遠きにおいてつくるもの

日系コソル人の思いことは芸術

細川周平 郷愁、言語、芸能を軸として日系移民の歴史と文化を再考する。現地調査に基づく移民研究の集大成。高宮文彦 著

小さな哲学史

アラソ 古代ギリシャに始まりオキギュスト・コントの実証哲学まで。哲学のエッセンス全22篇。橋本由美子訳 三宮円

忘却の力

創造の再発見

外山滋比古「なんでも知っているバカがいる」(百聞)。記憶はコンピュータに！ 反知的メタボの50の処方箋。三宮円

イーハトーブ温泉学

岡村民夫 湯治文化からスパ・リゾートまで。宮沢賢治の生涯と作品を、温泉的想像力の発露として解き明かす。三宮円

みすず書房 (税込)

東京本郷 5-32-21 http://www.ms2.co.jp

シリーズ・もっと知りたい名作の世界

刊行百周年記念。アンの新たな魅力

⑩ 赤毛のアン

桂 宥子 / 白井澄子編著 2520円

● 好評既刊 ●

- ① 若草物語 高田賢一編著 2100円
- ② ハムレット 青山誠子編著 2100円
- ③ ウォールデン 上岡克己ほか編著 2310円
- ④ ライ麦畑でつかまえて 田中啓史編著 2625円
- ⑤ ガリヴァー旅行記 木下 卓ほか編著 2625円
- ⑥ ダロウエイ夫人 窪田憲子編著 2730円
- ⑦ フランケンシュタイン 久守和子ほか編著 2730円
- ⑧ ビラヴィド 吉田進子編著 2625円
- ⑨ 指輪物語 成瀬俊一編著 2520円

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 価格税込み / 宅配可

沖縄社会のすべてを知る、初めての民俗辞典。

沖縄民俗辞典

渡邊欣雄・岡野宣勝・佐藤壮広
塩月亮子・宮下克也 編

菊判 / 8400円

一内容案内送呈

歴史時代から薩摩入り、米軍統治時代を経て現代まで。独自で豊かな文化を育んできた沖縄社会のすべてを網羅した多彩な九五〇項目を収録。

歴史遺産、信仰、年中行事、芸能、方言、料理、自然、移民、基地、観光……。



吉川弘文館

価格税込

東京都文京区本郷7-2 / 電話 03-3813-9151

●日本の精神史にあらわれた、稀有な存在の全貌

大江満雄論

転形期・思想詩人の肖像

渋谷直人著 46判・5040円

日本とアジア、国家と民族、科学と人間などを切り離さずに考え続けた詩人の生涯を、全ての作品を射程に入れ、初めて一望のもとにおく。

●来るべき者たちの声が、ここにある

癡者の憲章

大江満雄ハンセン病論集

大江満雄著 木村哲也編
46判・3360円 (鶴見俊輔氏推薦)

詩作を通してハンセン病者との交流を続け、差別と偏見をともに乗り越えようとした詩人。その対話の歴史を未来に向け、まとめる。

大月書店 東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651(代表)
http://www.otsukishoten.co.jp/ (税込)

沖縄／暴力論 若き高杉一郎

改造社の時代

西谷修・仲里効編
◇二五三〇円
太田哲男著
◇三六七五円

俳優の仕事

俳優教育システム 第一部

スタニスラフスキー著
岩田・堀江・浦・安達訳
◇六〇九〇円

〔宮本常一著作集別集〕

私の日本地図

9 瀬戸内海III 周防大島
10 武蔵野・青梅

宮本常一著
香月洋一郎解説・編集
◇各三二〇円

未来社 〒112-0002 東京都文京区小石川13-7-2
tel.03-3814-5521 www.miraisha.co.jp/

慶應義塾大学出版会

<http://www.keio-up.co.jp>

ことばをつくる

言語習得の認知言語学的アプローチ
マイケル・トマセロ著／辻幸夫・野村益寛・出原健一・菅井三実・鍋島弘治朗・森吉直子訳 比較認知科学や発達心理学における豊富な研究データをもとに、子どもの言語習得のプロセスを明示する。 ●3675円

開放系言語学への招待

文化・認知・コミュニケーション

唐須教光編 言語を人間のコミュニケーションの中にとらえ直し、戦時体験の語りからネット上の言語まで、現代の様々なコミュニケーション現象に迫る。 ●2520円

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30 【価格税込】
Tel 03-3451-3584 Fax 03-3451-3122

◎ほんとうの市民政治の創出のために

沖縄ラプソディ

—〈地方自治の本旨〉を求めて

宮城康博著

地方自治から日本政府・米軍専権の構図を鋭く見つめる。 ●2310円

◎〈越境〉の文化社会学

移動する人びと、変容する文化

—グローバル化とアイデンティティ

白水繁彦編

ハワイ・ブラジル・日本における長期のフィールドワークを通して活写する。 ●2520円

◎経済学で活躍してきた女性の知的来歴

女性経済学者群像

—アダム・スミスを継ぐ卓越した八人

ポーキングホーン+トムソン／櫻井毅監訳
女性が経済学の上にするした歴史を描く。 ●2940円

御茶の水書房

東京都文京区本郷5-30-20 ☎03(5684)0751
<http://www.ochanomizushobo.co.jp/>

贈与論

マルセル・モース／有地 亨 訳

贈与論 [新装版]

レヴィ＝ストロース等数多の思想家を魅了した古典の復刊。 3990円

村上靖彦

自閉症の現象学

自閉症児の発達に一貫した論理を見出す哲学の新たな挑戦。 2730円

* 価格税込

TEL 03-3814-6861
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
<http://www.keisoshobo.co.jp>

「自分との関係」を、
こじらせていませんか？

自己評価メソッド

自分とうまくつきあうための心理学

クリストフ・アンドンレ

高野 優 訳
定価 2310円

いまの自分を好きになれない……。自分自身に対する不当な思い込み(ゆがんだ自己評価)をときほぐし、前向きに生きるための実践法。

紀伊國屋書店

出版部：東京都目黒区下目黒3-7-10
営業 TEL03(6910)0519 表示価格は税込み
<http://www.kinokuniya.co.jp/>

ラカン派精神分析入門

理論と技法

B.フィンク著／中西・椿田・舟木・信友訳
ラカンの基本概念とラカン派の實踐について豊富な事例を通じて初心者にも手に取るように理解できる驚嘆の書。5250円

うつ病の心理

失われた悲しみの場に

内海 健著 蔓延するうつ状態とうつ病の違いを具体的に指摘。典型的な双極Ⅱ型障害の具体的な事例を詳細に説明し、患者の自殺に向かう危機を回避。2940円

新・臨床心理士になるために〔平成20年版〕

(財)日本臨床心理士資格認定協会監修
臨床心理士の資格取得を目指す心理臨床家やカウンセラーおよび大学や大学院で学ぶ人のための資格取得ガイド。1575円

誠信書房

東京都文京区大塚3-20-6
TEL.03-3946-5666 (税込)

母が 増刷出来 重くてたまらない

— 墓守娘の嘆き

●信田 さよ子 母娘関係の緊迫した実態と父親の無関心を鋭く照射し、あらゆる世代の女性から共感の声!
◇各紙誌絶賛/1785円

シリーズ インド哲学への招待
〈全5冊〉完結! ●宮元啓一

インド人の考えたこと〔重版〕2415円
インドの「一元論哲学」を読む 2625円
インドの「二元論哲学」を読む 2625円
インドの「多元論哲学」を読む 2625円
インド哲学の教室〔最新刊〕 2310円

春秋社 東京都千代田区外神田2-18-6
電話 03-3255-9611 (価格は税込)
<http://www.shunjusha.co.jp/>

今秋刊行 創立四十周年記念出版 「人文書のすすめIV」

発行 人文会 (春秋社内)
<http://www.jinbunkai.com>

ジミー・カーター 著 北丸雄二 中野真紀子 訳

カーター、パレスチナを語る

アパルトヘイトではなく平和を

四六判上製 266頁 定価 2415円 (税込)

イスラエルが建国されてから60年。カーター元大統領は一貫してこの地域の紛争解決に取り組んできた。本書はイスラエルの政策の是非について沈黙が支配するアメリカにあって、元大統領がイスラエルの占領政策を正面から批判したということで物議を醸し、忽ち全米ベストセラーとなった話題の本。一般にもわかりやすく、中東和平の背景を提示している。

晶文社 東京都千代田区外神田2-1-12
TEL 03-3255-4501 (価格は税込)
<http://www.shobunsha.co.jp/>